

第七十六回帝國議會 昭和十二年法律第九十號中改正法律案
衆議院 (米穀ノ應急措置ニ關スル件)

委員會會議錄(速記)第七回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
農地開發法案(政府提出)(第八〇號)

會議

昭和十六年二月十八日(火曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 村上 國吉君

理事吉植 庄亮君 理事成島 勇君

理事松浦 伊平君

池田七郎兵衛君

石坂 繁君

小串 清一君

長野 綱良君

釘本 衛雄君

坂下仙一郎君

鈴木 文治君

土田 莊助君

三善 信房君

服部 岩吉君

二月十七日委員吉田賢一君及北村文衛君辭任ニ付其ノ補闕トシテ大石大及釘本衛雄君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月十八日委員村上元吉君辭任ニ付其ノ補闕トシテ岩瀬亮君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 石黒 忠篤君

出席政府委員左ノ如シ

農林省總務局長 周東 英雄君

農林省農政局長 岸 良一君

農林省山林局長 井出 正孝君

農林省資材部長 重政 誠之君

食糧管理局長官 湯河 元威君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

農地開發法案(政府提出)

○村上委員長 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、昨日ノ續キデ三善君ノ質疑ヲ御進メ下サイ

○三善委員 土地開發營團ハ營利ヲ目的トスルノデハアリマセスコトハ勿論デアリマスガ、營團自身ヲ維持シテ行クニ付キマシテハ、ヤハリ營團ソレ自體ニ於テ相當ノ經費ヲ捻出シナケレバナラスト思ヒマス、ソコデ營團ガ經營シマス所ノ其ノ開墾ハ、大體一反歩當リ開墾費用ヲドノ程度ニ見積ツテ居ラレノデアルカ、或ハ之ニ對スル所ノ政府ノ助成金ハ何程ヲ見込シテ居ラレノデアリマスカ、又自作農ヲ創設スルコトガ大體ノ目標ノヤウデアリマスカラ、若シ自作農ヲ創設スルコト云フコトニナリマスレバ、其ノ土地ニ對シテ平均ノ價格ヲドノ程度ニ評價サル御意見デアルカ、又營團ハ開墾以外ニ水利ノ施設、或ハ土地改良等ノ施設ヲモヤルノデアリマスガ、是ハ普通ノ請負ノ工事ヲナスノデアルカ、若シ其ノ水利及ビ土地改良ノ施設ニ依ツテ相當效果ヲ現ハス場合ニ、ソレニ對シテ營團ニ何カ收得セシメルヤウナ考ヘデアルカ、兎ニ角營團ノ經理ト云フコトハ、此ノ場合考ヘテ置カナケレバナラスコトダト思ヒマスガ、其ノ點ニ付テ御説明ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス、次ニ又此ノ開墾ノ計畫ト云フモノガマダ明カニサレテ居ラヌノデアリマスカラ、之ヲ各年度ニ分ケテドウ云フ計畫ヲ持

ツテ居ラレカト云フコトヲモ、併セテ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○岸政府委員 營團ハ經費ガ要ルガラウ、其ノ經費ノ捻出ヲドウ云フ風ニスルカト云フコトガ第一點ノ御尋ネデアツタト思ヒマス、營團ノ經營ハ只今モ御話ノアリマシタヤウニ、全ク營利ヲ目的トスル譯デアリマセスカラ、此ノ土地ヲ購入シテ、其ノ土地ヲ非常ニ高ク賣ツテ利益ヲ得ヨウト云フ考ヘハアリマセス、隨ヒマシテサウ云フヤウナコトハ見込ミマセスケレドモ、此ノ運

營ヲシテ行ク上ニ於テ必要ナル經費ニ付テハ之ヲ加算シマシテ、サウシテ土地ノ賣却ニ依ツテ之ヲ回收シテ行クト云フコトニ考ヘテ居ル譯デアリマス、勿論比較的大キナ地區ヲ開發シ、又多少不便デモ之ヲヤツテ食糧増産ノ上ニ貢獻スルコト云フ立場ニアリマスカラ、開墾費等ニ於テモ、或ハ耕地改良ノ仕事ニ於テモ經費ガ餘計掛ルト云フコトモアリマセウカラ、サウ云フ點ヲ考

慮致シマシテ、事業費ニ對シテ普通ノ耕地改良ヲヤル場合ヨリモ高率ノ助成ヲスルコトニ致シテ居リマス、大體此ノ營團ノ仕事ハ、開墾ト耕地ノ改良ノ仕事ト致シマシテハ、第一ニ用排水工事ヲヤルコトニナツテ居リマス、其ノ面積ハ大體受益面積三千町歩以上ノ地區ヲ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレ等ノ仕事ニ對シテ、何レモ六割ノ助成ヲスルト云フ計畫デ進ンデ居ル譯デアリマス

ソレカラ第二ノ自作農ヲ創定スル場合ニ依ル價格ノ問題デアリマスガ、是ハ勿論地

區ガ全國ニ互ツテ居ル問題デアリマスシ、隨テ地方々々ニ依ツテ土地ノ購入ニモ差ガアル、又ソレニ從ツテ經費其ノ他ノ關係モアリマスノデ、賣ル價格ニモ差ノアルコトハ已ムヲ得ナイト思ツテ居リマス、其ノ工

事費ヲ平均ドノ位ト概定スルコトハ中々困難デアルト思ツテ居リマスガ、大體素地ニ於テモ其ノ地方ノ現在ノ價格ニ於テ買ツテ、サウシテ自作農ニ賣ル時ニ於テモ、大體其ノ時價ヲ考慮シテ賣却スル考ヘデ居リマス、平均的ニ見マスレバ、普通ノ地價ヨ

リモ相當安ク之ヲ賣ルト云フ見當ヲ付ケテ居リマス、今素地ヲドノ位デ買フカト云フコトハ一應目安ヲ付ケテ居リマス、併シ此ノ通り行クカドウカト云フコトハ、其ノ實際ノ場合ニ於テハ差ガアラウト思ヒマス

ガ、大體平均山林原野デハ反當百三圓、畑ニアツテハ大體二百八十八圓位ノ見當デ取りマシテ、ソレニ經費ヲ加算シテ賣ラウ、斯

ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、平均ドノ位デ處分ヲスルカト云フコトニ付キマシテハ、先程申上ガマシタヤウナ事情デアリマスカラ、場合々々ニ依ツテ非常ニ差ガアリマスガ、田ハ反當三百七十圓、畑ハ百

九十圓ト云ツタヤウナ見當デ處分シテ行キタイト考ヘテ居リマス、是ハ固ヨリ地方的ニ差ガアリマス、又アルノガ當然デアリマス、併シ彼此ノ睨合ハセテソレ位デ處分シテ行カウト云フ風ニ考ヘテ居リマス

ソレカラ水利施設、是ハ先程申上ガタヤウニ耕地改良トシテ用排水工事ヲヤリマス、

此ノ工事ハ受益面積三千町歩以上ト云フコトニ致シテ居リマス、此ノ工事ニ對シテモ、六割ノ事業ノ助成ヲシテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

其ノ次ハ其ノ計畫ノ年度別ノ計畫ヲ示セ

ト云フ御話デアリマスガ、開墾事業ハ五十万町歩デアリマス、ソレハ一應營團ト區別セズ、今度ノ自給強化ノ計畫デ申上ゲマス、是ハ營團ノ方モ含シテ居リマス、營團ノヤルノハ五十万町歩ノ中二十五万町歩ガ營團デアリ、ソレカラ他ノ二十五万町歩ガ道府縣其ノ他ガ、從來ノヤウナ順序ヲ以テヤツテ行クコトニナツテ居リマス、ソレヲ年度別ニ申上ゲマスト、本年着手シ、サウシテ引續イテヤツテ行ク面積ガ一万町歩、次年度以降ガ十萬五千町歩、斯ウ云フ見當デ考ヘテ居リマス、ソレカラ大規模ノ用排水改良事業、是ガ十六年度ガ二萬九千町歩、十七年度ガ三萬一千町歩、十八年度以降ガ三萬町歩ツツ合計十五萬町歩、是ハ營團ダケガヤル仕事デアリマス、ソレカラ他ノ方法ニ依ツテヤル用排水幹線ノ改良、是ハ從來通りノヤリ方デヤルモノデアリマスガ、此ノ受益面積ハ三千町歩未滿デアリマス、此ノ總體ガ三十九萬町歩デアリマス、年度別ニスルト、本年着手スルノガ十萬町歩、十七年ガ八萬町歩、十八年以降ガ七萬町歩ツツ三箇年、ソレカラ其ノ次ハ農用公共事業ノ仕事デアリマスガ、是ガ全體デ五十萬町歩ニナリマス、是ハ從來ヤツテ居ルノヲ此ノ法律ニ從ツテヤル譯デアリマス、是ガ五十萬町歩アルノハ、本年着手ノモノガ十萬町歩、十七年ガ十一萬町歩、十八年モ十一萬町歩、十九年、二十年ト八萬町歩ツツ、斯ウ考ヘテ居リマス、ソレカラ床締客土、

是モ從來ヤツテ居タ仕事デゴザイマスガ、是ガ八萬町歩是ハ初年度ガ一萬七千町歩、十七年度以降ガ一萬七千三百二十五町歩ツツデアリマシテ、合計八萬町歩、ソレカラ今度ノ仕事デ新シク加ヘラレタノガ地下水源ノ利用、是ハ從來ノ農地改良ノ中ニナカッタ新シイ仕事デゴザイマスガ、是ガ五萬町歩程ニナツテ居リマス、是ハ本年ハ千五百町歩、十七年度、十八年度、十九年度ガ一萬二千町歩ツツ、ソレカラ最後ノ二十年ガ一萬二千五百町歩、合計五萬町歩、斯ウ云フ風ニナツテ居リマス、此ノ外ニ本年ハ豫算ガ取レマセヌデシタガ、次年度以降ニ考慮シタイト思ヒマスノハ耕地ノ整理、之ヲ二十萬町歩、即チ十七年度以降毎年五萬町歩ツツヤツテ行クヤウナ計畫デ考ヘテ行キタイ、斯ウ云フ考ヘデ居リマス

ソレカラ尙ホ此ノ法律ノ中ヲ御覽下サイマスト、此ノ營團ノ仕事ニ附帶シテヤル仕事ガゴザイマス、ソレハ主ナ仕事ハ自作農ヲ創設スル場合ノ移住家屋ノ建設ヲ此ノ營團ガヤツテ參リマスガ、ソレ等ハ毎年此ノ工事ノ開發ニ從ヒマシテ其ノ建設ヲヤツテ行カウト致シテ居リマス、是等ニ對シテハ政府ハ補助金ヲ約一戸當リ三百圓ツツ交付シテ、サウシテ自作農創設ガヤリ易イヤウニシテ參ル考ヘデアリマス、其ノ數ハ、此ノ營團デヤリマスノハ大體五萬戸デゴザイマス、其ノ外一般ノ開發ニ於キマシテ約一萬五百戸ヲ豫定致シテ、合計此ノ仕事ニ依ツテ設定サレル所ノ自作農ハ六萬五百戸、斯ウ云フ考ヘヲシテ居リマス、此ノ移住ハ大體土地ノ開發ニ從ツテ毎年計畫ヲ進メテ參リマスカラ、十六年カラ始リマシテ二十年マデ此ノ仕事ヲ毎年繼續シテ行ク、斯

ウ云フ考ヘデ行キタイト思ツテ居リマス

○三善委員 大體ノ計畫ダケハ只今ノ御説明デ分リマスガ、先程御説明ノ中ニ山林原野ノ買入價格ハ百三圓デアル、畑地ハ一反當リ二百八十八圓デ買入レル、サウシテ之ヲ開墾シテ後自作農ヲ創設スル場合ニハ、田地ハ三百七十圓ニスル、畑地ハ百九十圓ニスル、斯ウ云フヤウナ御説明デアツタト思ヒマスガ、二百八十八圓ニ買ツタ畑地ヲ百九十圓ニ賣却サレルト云フコトハ、ソコニ非常ナ相違ガアリハシナイカト思ヒマス、此ノ點ハ或ハ二百八十八圓デ買入レタ所ノ畑地ハ水田トナシテ、水田ノ値段デ賣却シ、畑地デ買入タモノハ其ノ儘畑地トシテ賣ルノデナイト云フコトニナルト思ヒマス、サウナレバ別ニ疑ヒモナイト思ヒマスガ、只今ノ説明デハ一寸異様ニ感ゼラレマシタカラ、一應其ノ點ヲ確カメテ置キタイト思ヒマス、尙ホ又此ノ田地ガ三百七十圓ニ賣却サレルト云フコトニナリマスト工費ノ點ガドウ云フ風ニナルカ、助成費ハドノ程度ノ助成ヲサレルノデアルカ、是ハ此ノ營團經營ノ上ニ最重要ナコトダト思ヒマス、ソコデ先

ヅ政府ノ方デハ三千町歩以上ノ面積ヲ開墾サレルト言ハレマスノデ、凡ソノ見當ハ付イテ居ナケレバナラスト思ヒマス、其ノ三千町歩ノ面積ノ中ニハ或ハ山林原野モアリ、或ハ畑地モアリマセウガ、大體ノ見當ハ付イテ居ラナケレバナラスト思ヒマス、ソコデ其ノ買入レノ價格ガドノ程度ニナツテ、之ニ工費ガ何程加ヘラレテ、サウシテ助成金ガドレダケ交付セラレルコトニナツテ、又此ノ營團自身ノ費用ガ相當要ルト思ヒマスカラ此ノ維持費等モ考ヘテ、サウシテ結果ガ今度ハ自作農創設ニ幾ラニ價格ヲ定ム

レバ宜イト云フコトニ結論付ケラレナケレバナラスト思ヒマス、其ノ收支ヲ明瞭ニシテ戴キタイト思ヒマス、ソレカラ又此ノ助成費ハ一般ノ助成費ト違ツテ、營團ニ對シテハ廣イ面積ヲ開墾スルノデアルカラ、特ニ助成率ヲ高クスルト言ハレマシタガ、然ラバ其ノ助成率ハドウ云フ風ニナツテ居ルカ、一般ノ助成率トノ差額ガ分ツテ居リマスカラ、ソレヲ明瞭ニシテ戴キタイト思ヒマス、次ニ又各年度ノ計畫ヲ御説明下サツタノデアリマスガ、是ハ表ニシテ全委員ニ御配付ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレト同時ニ之ニ依ツテドレダケノ増産ガ毎年出來ルカ、例ヘバ此ノ營團デ十六年度ニ八萬町歩、或ハ一般ノ民間デ開墾シマスノガ二萬九千町歩此ノ開墾ヲナスコトニ依ツテドレダケノ増産ガ出來ルカ、或ハ又改良事業ニ依ツテドレダケノ増産ガ出來ルカ、又床締ニ依ツテドレダケノ増産ガ出來ルカ、耕地整理ニ依ツテ

毎年度下レダケノ増産ガ出來ルカト云フコトヲ、計畫ト、各年度ノ増産ノ石數等ヲ明瞭ニシテ戴キタイト思ヒマス、先程御説明ノ中ニ、數字ノ點ガ多少喰違ヒノ點モアルヤウニ思ヒマスケレドモ、是ハ表ニ依ツテ明カニサルレバ、今茲ニ此ノ點ハ御聽キ申サスデモ宜イト思ヒマス

○村上委員長 三善サン、今直グ御答辯ヲ求メラレルノデナケレバ、ソレ等ノ數字ハ印刷物ニデモシテ配付ヲ受ケルコトニシタ方ガ、宜クハナイカト思ヒマスガ、ドウデスカ

○三善委員 サウ願ツテ置キマシタカラ、印刷ニシテ全員ニ配付セラレルヤウニ願ツテ置キマス

○岸政府委員 第一問ノ素地ノ値段ト、出

來上ツタ農地ノ値段ト唯其ノ儘引合ハセ
ルト矛盾ガアルト云フ御話デゴザイマスガ、
ソレニ付テノ三善サンノ御見解ハ其ノ通り
デ宜イト思フノデアリマス、ソレハ畑ヲ水
田ニスルノガ一万町歩アリマスカラ、サウ
云フヤウナモノニ依ツテ畑ガ田トシテ賣ラ
レテ行ク、ソレカラ畑ニナルモノニハ素地
百三圓ノ山林、原野カラ造ラレルモノガ
澤山アリマスルノデ、ソレ等ハ安クナリマ
ス、全體トシテ突キ混ゼテサウ云フ風ナ形
ニナルノデアリマスカラ、御話ノヤウニ考
ヘテ宜イト思ヒマス、ソレカラ助成率ノ差
ノアルノハ、實ハ一寸誤解ガアルヤウデス
カラ申上ゲマスガ、開墾ノ方ハ營團デヤル
ノハ一團地五十町歩以上デゴザイマス、普
通ノデヤルノガ五十町歩未滿ト考ヘテ居リ
マス、五十町歩以上ノ仕事ト五十町歩未滿
ノ仕事トハ、先程モ申上ゲマシタヤウニ、
普通道府縣トカ、或ハ市町村デヤルヤウナ
仕事ニナリマスルト割合ニ容易イ所ヲヤル
ト云フコトニナリマスノデ、助成率モ差ヲ
付ケテ居リマス、開墾ニ付テハ營團ノ方ガ
六割ニ對シテ一般ニヤルノガ四割——從來
ノ程度デ考ヘテ居リマス、是ハ營團ノ方
ガ比較的困難ナ仕事ガ多カラウト云フコト
ニナル譯デアリマス、ソレカラ營團ガ只今
申シマシタ素地ノ價格デ買ツテ行ク、サウシ
テ出來上ツタ耕地ヲ先刻申上ゲマシタ値段
デ賣ルト云フ際ニ於ケル、各部經費ノ關係ヲ
御尋ネニナリマシタガ、是ハ概要ハツキリ
シテ居マス、初年度デケニ付テ一應申上ゲテ
置キタイト思ヒマスガ、收入ハ開墾地ノ賣却
代金ヲ一億三千百萬圓ト概定シマス、ソレ
カラ政府ノ助成ヲ四千三百七十四萬圓、合
計シテ收入ガ一億七千四百七十四萬圓ト見

テ居リマス、ソレカラ支出ノ方デ大キイノ
ハ結局素地ノ購入費デ、之ヲ七千二百六十
七萬圓、ソレカラ次ハ先程御話ニナリマシ
タ開墾ノ事業費デゴザイマスガ、之ヲ七千
二百九十萬圓、斯ウ云フヤウニ見テ居リマ
ス、ソレデ支出ノ合計ガ結局收入ト同ジデ
一億七千四百七十四萬圓、隨テ素地ノ買收
費、開墾事業費等ヲ寄セマシタモノヲ、只
今ノ支出合計カラ差引キマシタモノハ營團
ノ本社費、或ハ公定積立金、或ハ社債ノ利
子、或ハ公租公課、或ハ償却ト云フヤウナ
モノニ支出サレル、斯ウ云フ概定デ昭和十六
年度着手ノ分ヲ考ヘテ居ル譯デアリマス、大
體御質問ノ點ハ其ノ三點ダツタ思ヒマス
○三善委員 大體初年度ノ數字ハ分ツタノ
デアリマスガ、長期ニ互ルモノデアリマシ
テ、大體開墾ノ豫定地ト云フモノハ分ツテ
居ルト思ヒマスカラ、此ノ點ヲ表ニ作ツテ
委員一般ニ御配付願ツタ方ガ宜イト思ヒマ
ス、只今御説明ニ依リマスト、先ヅ一億七
千四百七十四萬圓ノ收入トナツテ、土地ノ
賣却代、助成金ト云フコトニナツテ居リマ
ス、ソレニ對シテ支出ガ同額デアル、結局
營團ノ維持費ト云フモノハ二千九百七十七
萬圓ト云フコトニナルト思ヒマス、ソコデサ
ウ云フ風ニ計算シテ參リマスト、自作農
ノ創設ノ爲ニ地方ニ買却サレル所ノ價格ト
云フモノハ一般ノ時價ヨリモ安クセナケレ
バナラヌト云フヤウナ先程ノ御話デアリマ
シタガ、一般ノ時價ヨリモ安ク見積ツテア
ル所ノ價格デアルト承知シテ宜シイノデア
リマセウカ、其ノ點承ツテ見タイト思ヒマ
ス

○岸政府委員 只今ノ三善サンノ御尋ネノ
通りデアルト思ヒマス、時價ヨリモ安ク提
供シ得ル、斯ウ云フ考ヘデアリマス
○三善委員 之ニハ唯土地ノ買却代トシテ
アリマスガ、或ハ他ニ改良ノ施設トカ、土
地水利ノ施設トカ、或ハ地下水源、或ハ床
締メ等、是等一般ノモノニ對スル所ノ經費
ト云フモノハ見積ツテナイヤウデアリマス
ガ、唯開墾費ダケト、斯ウ承知シテ宜シウ
ゴザイマスガ
○岸政府委員 營團ノ方ハ開墾ダケ、斯ウ
御考ヘ下サツテ結構デアリマス
○三善委員 先程改良事業ハ十六年度ニ二
萬九千町歩、十七年度ニ三萬一千町歩、十
八年度以降ハ三萬町歩ト言ハレマシタカラ、
ヤハリ改良費ガナケレバナラヌト思フノデ
アリマスガ、其ノ點ハ如何デスカ
○周東政府委員 御話ノ通り營團ト致シマ
シテハ、開墾ト大規模ノ土地改良事業ヲ營
ム譯デアリマスガ、農業水利改良ノ方ニ於
キマシテモ、ソレニ對シテ助成金ガ出マス
ガ、是ハ助成金ト地元ノ納付金デ大體トシ
ンニナル、サウ云フ計畫デゴザイマス、
アトハ此ノ開墾シタモノニ對シテ開墾費ヲ
助成シ、之ヲ買却シタモノデ、大體收入ガ
入ツテ來ルト云フヤウナ計畫ヲ立テテ居リ
マスカラ、先刻農政局長カラ申シマシタノ
ハ、收入關係ニ於テ見マシタモノハ、大體
此ノ開墾ダケト云フ答辯デアツタト思ヒマ
ス

○三善委員 改良事業ヲ營團自身デオヤリ
ニナリマスルト、其ノ助成金モ、或ハ地元
負擔金モ收入ニ入ラナケレバナラヌト思フ
ノデアリマス、是ハ別個ニ特別會計カ何カ
デオヤリニナルナラ別デスガ、營團自身ガ
經營スルト云フコトニナリマスルト、助成
金モ或ハ地方負擔金ト云フモノモ收入ニ見
止マナケレバナラヌ、ト思ヒマスガ如何デ
ス
○周東政府委員 其ノ點ハ收入ノ中ニ入ツ
テ居ルノデス、納付金及ビ土地改良ニ對ス
ル助成金ハ皆收入ニ入ツテ居ルノデアリマ
ス
○三善委員 唯助成金ト言ハレタモノデ、
納付金ト云フ事ハ言ハレナカツタノデ、
サウ申上ゲタ譯デス、ヤハリソレ等ノ收支
計算ハモウ少シ明瞭ニ各年度ニ互ツテ御立
テ下サツテ、委員全部ニ御配付願ツテ置キ
マス、尙ホ此ノ點ニ付テハ詳細御質問申上
ゲタイト思ヒマスケレドモ、時間モ經過致
シマスノデ、他ノコトニ付テ御尋ネ致シマ
ス
○村上委員長 三善サン、適當ノ機會ニ懇
談會ヲ開キタイト思ヒマスカラ、尙ホ詳細
ノコトハ其ノ際御尋ネシテ戴イテ結構ダト
思ヒマス
○三善委員 サウ致シタイト思ヒマス、私
モ成ルベク簡單ニ御尋ネ致シマス、土地ノ
開墾改良ニ依ル面積ノ増加ト、又改良ニ依
ル裏作反別ノ増加等ガ出來テ參リマスノ
デ、結局栽培面積ガ相當増加スルコトニナ
ルト思ヒマス、之ニ對シマシテハ肥料ノ増
產計畫ガ伴ハナケレバナラヌト思ヒマス、
申スマデモナク耕地ノ改良及ビ開墾ニ依ツ
テ耕地面積ノ増加ダケヲ致シマシテモ、肥
料ノ増產計畫ガ伴ハナケレバ、結局米穀ノ
増產ト云フコトハ出來ナイト思フノデアリ
マス、此ノ肥料ノ増產計畫ハドウ云フ風ニ
立テラレテ居ルノデアリマセウカ、或ハ肥
料ノ増產計畫ヲスル上ニ付キマシテハ、一
面電力ト石炭等ガ伴ハナケレバナラヌト思
ヒマス、電力、石炭等ハ總テニ優先シテ今

マデ供給ヲ受ケテ居リマスガ、時局重大ノ際デアリマスカラ、ソレ以上又他ノ方面ニ取ラレマス、是ハ物動計畫ト配合ヘセテヤラナケレバナラスト思ヒマスガ、物動計畫ト其ノ邊ガ能ク調和ガ取レテ居ルカドウカ、其ノ點ヲモ一ツ明瞭ニ御答ヘヲ願ヒタイト思ヒマス

○重政政府委員 只今ノ三善サシノ御意見洵ニ御尤モデアリマス、私ノ方デモ殊ニ窒素肥料ニ付キマシテハ、食糧増産計畫ニ對應シテ、硫酸工場ノ増設ニ付テ計畫ヲ致シテ居リマス、御指摘ニナリマシタ通りニ、物動計畫ニ之ヲ編ミ込マケレバナラナイコトハ當然デアリマスノデ、十六年度物動ニ之ヲ編ミ込ムベク、今企畫院其ノ他關係方面ト協議ヲ致シテ居リマス、詳細ノ資料ヲ作ツテ先般企畫院ニ出シマシテ、關係官廳カラ關係官ニ來テ戴キ、第一回、第二回ト説明ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、吾々ト致シマシテハ十六年度物動編成ニ當リ、此ノ計畫ヲ是非編ミ込ミタイト云フノデ、今折衝ヲ致シテ居リマス

○三善委員 物動計畫ニ付キマシテハ、先般秘密會ニ於テ大體企畫院總裁カラ説明サレタノデアリマスケレドモ、更ニ開墾地ノ増加及ビ土地改良等ニ依リマシテ、肥料ノ増産ガ必要ニ迫ラレテ參ルノデアリマスカラ、當然物動計畫ハ變更セラルベキモノダト思ヒマス、ソレニ對シテ御善慮下サルコトハ、只今御説明ニ依ツテ分ツタノデアリマスガ、ソコデ肥料ガ各年度ニ互ツテ果シテ増産可能デアルカドウカ、土地面積ノ増加ニ伴フ必要ナル肥料ガ増産可能デアルカドウカ、其ノ計畫ガ立ツテ居ルカドウカ、若シ立ツテ居リマスレバ、無機質肥料ニ對

スル計畫ノ御説明ガ願ヒタイト思ヒマス

○重政政府委員 大體工場ノ設備ノ増設完成年度等ヲ考慮シマシテ、ソレニ對スル資材モ一應計算ヲ致シテ居ルノデアリマス、只今申上ゲマシタ十六年度物動ノ編成ニ當ツテ、之ヲ中ニ入レタイト云フノデ、目下十六年度物動ノ編成中デアリマスカラ、其ノ方面ト折衝致シテ居ルヤウナ狀況デアアルノデアリマス、使用資材等ガ相當窮屈ニナツテ居ルトコハ、只今御話ニナリマシタ通りト思ヒマスケレドモ、吾々ト致シマシテハ食糧供給ノ計畫ニ對應シテ、窒素肥料ノ確保ヲ致スコトハ、只今御述ベニナリマシタ通りデアリマスノデ、極力折衝致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○三善委員 少シ心細イヤウナ感じガ致シマス、只今折衝シテ居ラレ程度デハ、一面ニ増産計畫ヲナシ、其ノ増産計畫ノ根本ニナル肥料問題ヲ、今マダ折衝中ト云フコトデハ、如何ニモ私共ハ遺憾ニ思フヤウナ次第デアリマス、御折衝中デアレバソレヲ適當ニ解決セラレンコトヲ望ム次第デアリマス、私ハ肥料計畫ト云フモノハ、當然開墾及ビ土地改良ト併セテ考ヘナケレバナラヌ重大ナ問題ダト思ヒマス、ソコデ年度割ニ依ツテ、本年度ニドレダケノ肥料ガ増産セラレナケレバイカス、來年度以降各年度ニ於テドレダケノ肥料ガ増産サレナケレバイカス、之ニ對シテドノ程度ノ設備ガ必要ダト云フコトガ茲デ明カニナラナケレバ、眞ノ増産計畫ト云フモノハ出來ナイノデハナイカト思ヒマス、私ハ耕地ノ面積ノ増加、土地改良ニ依ツテ無機質ノ肥料ガドノ程度要ルト云フコトハ、計算致シマスト直チニ分リマス、併シナガラソレ等ノ點ハ申上ゲ

マセス、肥料問題ニ付テ特ニ支障ナキ様善處アランコトヲ要望致シテ置キマス

次ニ開墾地ノ基準ヲ如何ニシテ定メラレルカ、ト云フコトヲ御聽キシタイト思ヒマス、三千町歩以上ノ開墾面積ト云フモノハ各縣ニアルト思ヒマス、ソコデ例ヘバ水田ヲ開墾スルト致シマスレバ、是ハ二毛作地帶ヲ選定スルトコトガ一番宜シイト思ヒマス、今日ノ如キ食糧不足ノ折柄、米モ穫レ麥モ穫レル、所謂二毛作ヲ開墾スルトコトガ増産ノ趣旨ニ適ヒ、又土地利用ノ方面カラ考ヘマシテモ、最モ適當ナルコトデアルト思ヒマス、併シナガラ一面又開墾地ノ地方分散ト云フコトモ考ヘナケレバナラスト思ヒマス、此ノ點ヲモヤハリ考慮ニ入レラレルコトガ其ノ一ツデアルト思ヒマス、又努力分布ノ點ヲモ考ヘテ見ナケレバナラストデ、是等ノ點ヲ考ヘマス時ニ、開墾地ヲ何レニ求メルカ、開墾地ノ選擇ハ如何ナル基準ニ依ツテ選擇サレルノデアアルカト云フ、大凡ノ目安ガ分ツテ居リマスナラバ、其ノ點ヲ御聽キシタイト思ヒマス、今ドノ縣ニドレダケ開墾スルト云フコトヲ御聽キスルコトハ、或ハ色々ナ點ニ御支障ガアルカモ知レヌ、若シ差支ヘナケレバ其ノ點ヲ御聽キシタイト思ヒマス、併シナガラソレハ今説明セラレルノニ都合ガ惡イト云フコトデアツタナラバ、其ノ點ハ御聽キセヌデモ宜シウゴザイマスノデ、開墾地選定ノ基準ニ付キ御説明ヲ願ツテ置キマス

○重政政府委員 是ハ御質問ニハナラナカツタノデ、御答ヘヲスル必要モナイト思フノデアリマスケレドモ、誤解ガアリマスト私ノ方デモ不本意デアリマスノデ、モウ一應私肥料ノコトヲ申上ゲテ置キマス、只今三

善サシノ申サレマシタ通りニ、私ノ方デハ詳細ナル計畫ヲ立ツテ居リマス、サウシテ具體的ニ何處ヘドレダケヲドウスルト云フコトマデ、年度計畫ヲ立ツテ居リマス、ソレニ依ツテ今全般ノ凡ユル生産擴充物資ニ付テ、十六年度物動ノ編成中デアリマス、御承知ノ通りニ硫酸ノ製造工業ハ生産力擴充事業ニナツテ居リマスノデ、其ノ方デ今折衝ヲ致シテ居ルノデアリマス、特ニ硫酸ノ方面ダケヲ取出シテ十六年度物動ヲ編成スルト云フ譯ニハ參リマセヌノデ、全體ノモノガ決マル際ニ是モ吾々ノ要求ヲ達シマスヤウニ、企畫院ニ於テ決メテ貰ヒタイト云フ趣旨ニ於テヤツテ居ルノデアリマス、恐ラク只今御考ヘニナツテ居リマスヤウナ相當細カイ内容ノモノデ折衝ヲ致シテ居リマスカラ、此ノ食糧供給ニ關シテ肥料ノ問題ヲ考ヘズニヤツテ居ルノデハアリマセヌカラ、其ノ點ハ一ツ御了承戴キタイト考ヘマス

○岸政府委員 三善サシノ御尋ネノ、ドウ云フ標準デ開墾地或ハ耕地改良施設ヲ行フ土地ノ選定ヲ行フカ、是ハ多分營團ノ場合ニ限ツテノ御質問ダト思ヒマスガ、是ハ只今ノ御話ノヤウナ二毛作ヲヤラレルヤウナ直グ役立ツト云フ所デアルトカ、或ハ勞力ノ配分ト云ツタヤウナモノノ得ラレ易イ所デアルト云フヤウナコトハ勿論考ヘマシテ、比較的效果ノ擧ガリ易イ所ヲ先ニヤツテ、サウシテ速カニ増産ニ役ニ立ツ計畫ガ的確ニ行クヤウニ順ヲ追ウテヤツテ行クト云フ考ヘデ居リマス、一般ノ開墾耕地ノ改良ト云フモノハ、是ハ各府縣ニ從來通りノ關係デ參リマスカラ相當散布致スト思ヒマスガ、營團ノ方ノ仕事ハ必ズシモ各縣ニ分散スルト云ツタヤウナ譯ニモ參ラナイデアラウト

考ヘテ居リマス、尙ホ細カイ地區ヲドウスルノカト云フヤウナコトニ付テハ一寸只今申上ダ兼ネマスガ、大體全國ノ地區ヲ八大地區ニ分ケテ此ノ位ナ開墾豫定ヲシテ居ルト云フヤウナ數字ハ豫算總會デモ配付スルヤウニナツテ居リマスカラ、其ノ資料ヲ後デ御配リ致シマス

○三善委員 ソレデハ其ノ資料ヲ御提出下サレバ、ソレニ依ツテ尙ホ檢討致シテ見タイト思ヒマス、次ニ政府ハ食糧政策トシテ甘藷ヲ一億二千萬貫、馬鈴薯三千萬貫ヲ九月以降買上ゲラレト云フノデアリマスガ、甘藷ト馬鈴薯ハ非常ニ腐敗シ易イノデアリマス、而モ長期ニ互ル貯藏ハ非常ニ困難ナルト思ヒマスガ、之ヲドウシテ集荷サレルノデアルカ、又如何ニシテ配給サレルノデアルカ、是ハ頗ル困難ガ伴フモノデアルト思ヒマスカラ、其ノ計畫或ハ食糧トシテ消費スル上ニ付テハ之ヲ代用食トシテサレルカ、或ハ嗜好食品タル所ノ菓子類似ノモノニサレルカ、或ハ間食ニサレルカ、此ノ點ニ付キマシテ政府ノ計畫ガアリマスカラ一應承知致シタイト思ヒマス

○湯河政府委員 此ノ度米穀ノ應急措置ニ關スル法律ヲ改正シテ戴クコトニナリマシテ、此ノ間本委員會デ御決議戴イタノデアリマスガ、其ノ時ニモ只今三善サンカラ御話ノ點ハ御指摘ガゴザイマシタ、私カラモ率直ニ申上ゲテ置イタノデアリマス、實ヲ申シマス甘藷馬鈴薯ノ買入ト云フコトハ、只今御話ノゴザイマシタヤウニ相當難カシイ取扱ニナルト存ジマス、何分ニモ米麥等ノ需給ガ相當困難デゴザイマスノデ、之ヲ補ヒマスニ何トカシテヤツテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレデ從來ノ經驗

カラ申シマス甘藷馬鈴薯ノ大量ニ取扱ヒマスニハ、寧ロ之ヲ切干ニシテ扱ツタ方ガ宜イノデハナイカ、又貯藏ノ上ニモ輸送ノ上ニモソレガ妥當デハナイカト云フ風ニモ思ハレルノデアリマスガ、併シ今度法律ヲ改正シテ戴イテヤリマスノハ、米麥等ノ端境期ニ於キマシテ、非常ニ主要食糧ノ不足ガ心配サレマスル時ニ急遽ナル措置トシテ考ヘテ居リマスノデ、大體配給先ヲ決メマシテ生ノ芋ヲ扱ツテ見タラドウカト云フコトヲ考ヘテ居リマス、サリナガラサウ云フコトヲ致シマスニ付キマシテモ、色々方法等ニ付テ研究シナケレバナラヌコトガアルト思ヒマスノデ、其ノ實行ハ大體此ノ七月、八月、或ハ十一月頃ヲ目指シテ居リマシテ、ソレマデノ間ニ技術ノ方ノ人トモ十分ニ能ク打合せマシテ、支障ナイヤウニヤツテ行キタイト存ジテ居リマス、併シ生ノ芋バカリヲ扱フコト云フコトヲ考ヘテ居ル譯デハゴザイマセヌノデ、若干長期ニ互リマシテ將來ノ需給關係ヲ心配致サレマス時ニハ、之ヲ切干ニシテ扱フコト云フコトヲ是非考ヘナケレバナラヌカト思ツテ居リマス、併シ此ノ點ニ付キマシテハ農村ノ勞力等ノ點カラ、相當又農家ノ人ニモ迷惑ヲ掛ケルヤウナコトニナルカトモ思ツテ居リマス、其ノ點モ考慮シテ行キタイト思ヒマス

ソレカラ甘藷、馬鈴薯ヲドウ云フ風ニシテ食糧需給ニ應ズルカト云フコトノ御質問デアリマスガ、吾々ト致シマシテハ之ヲ飯ノ中ニ混ぜテ食フコト云フ趣旨デ扱ツテ行キタイト思ヒマス、場合ニ依リマシテハ飯ノ代リニ食フコト云フコトモシテ貰ハナケレバナラヌト思ツテ居リマス、併シ間食或ハ菓子等ニ使フコト云フ意味デ之ヲヤツテ貰ハウ

ト云フ積リハ只今ノ所持ツテ居リマセヌ、主要食糧トシテ扱ツテ行キタイト思ヒマス

○三善委員 甘藷ノ生ノモノハ非常ニ腐敗シ易イノデスカラ、是ガ集荷配給ト云フコトニ付テハ政府デ餘程緻密ニ考ヘテ居ラレナケレバ、唯計畫ダケデ實際ハ實行困難デハナイカト思ヒマスカラ、此ノ點ハ當局ニ御研究ヲ願ツテ置キマス、尙ホ之ニ對シテ私ノ考ヘテ居ルコトモアリマスカラ、後刻申上ゲルコトニ致シテ見タイト思ヒマス、ソレカラ甘藷ヲ政府デ御取扱ヒニナルト云フコトニナリマスレバ、現在工業原料等ノ甘藷ハ甘藷統制規則ニ依ツテ統制サレテ居リマスガ、今後工業原料ノ甘藷ト、食糧ノ甘藷トヲ別個ニ統制ナサル御積リデアルカ、ヤハリ此ノ甘藷統制規則ニ依ツテ一本建デ、統制ヲナサル御意思ナノデアルカ、此ノ點ヲ一ツ明瞭ニシテ置キタイノデアリマス、ソレカラ尙ホ價格ノ點ニ付キマシテハ先般他ノ委員カラ御質問ガアリマシタノデ、之ニ對シテハ善處サレルヤウナ御答辯ガアツタノデアリマスガ、私ハ唯善處サレルト云フコトダケデハ満足出來マセヌ、現在食糧甘藷ノ如キハ各縣トモ區々ニナツテ居ルヤウデアリマス、而モ其ノ價格ハ相當高低ノ開キガアリマス、而シテ一般ノ價格ハ大藏省專賣局デ買入レルヤウナ價格トハ非常ナ相違ガアリマス、故ニ此ノ相違ヲ何トカサレナケレバ、政府デ買上ゲラレル上ニ付テ大藏省デハ一貫目十五錢ダガ、農林省ノ買上價格ハ大藏省ノ買上價格ト違ツテ來ルト云フヤウナコトデハイカヌデハナイカ、勿論品種モ幾ラカ違ヒマスケレドモ、大體水分ガ多イト少イトノ相違デ、サウ大シタ相違デハアリマセヌ、ドウシテモ價格ハ統制サ

レナケレバイカヌト思ヒマス、是ハ善處サルルト云フケレドモ、私ハ今ノ内ニ價格ヲ發表サレルコトガ一番宜イト思フ、私ハ價格ノ點ニ付テ特ニ痛切ニ感ジマシタノハ、昨年ノ黃麻ノ價格、是ガ一貫目大體四圓二、三十錢スルモノトシテ農村ニ栽培シ、愈、黃麻ガ穫レテ收穫時期ニナルト、政府ノ方デ公定價格ヲ一圓八十錢ニ決メテ半額以下ニナツタ、ソコデ生産者ハ最初四圓二十錢取レルモノトシテ生産シタノニ、愈、收穫ノ曉ニハ半分ノ價格シカ取レナイト云フヤウナコトハ、餘リニ生産者ニ對シテ親切味ガナイト思ヒマス、ソコデ甘藷ノ如キモ今カラ其ノ價格ヲ決定サレテ置カレルコトガ、或ハ増産ニモ相當效果アルコト思フ、此ノ點ハ甘藷栽培前ニ是非其價格ヲ決定シテ發表サルコトガ最モ適當ダト思ヒマス、統制ノ問題ト價格ノ點ニ付テ、モウ一應御説明ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス

○岸政府委員 原料甘藷ノ統制ト食糧甘藷ノ買上ノ問題デアリマスガ、原料甘藷ノ統制ハ無論ヤツテ行ク積リデアリマス、併シ今御話ノ價格ノ點ニ付キマシテハ、是ハ十分ニ御話ノヤウナ點ヲ考慮シテ考ヘテ行カナケレバナラヌト思ヒマス、一般ノ原料ニナル甘藷、即チ「アルコール」トカ澱粉ノ原料甘藷、是等ニ付テハ、現在片方ハ最高一貫目十五錢五厘、片方ハ十八錢カニナツテ居リマス、是等ニ付テモ十分其ノ點ヲ考慮シテ、近ク何トカ決定シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、食糧トノ關係ニ付テハ先程御話ノアリマシタヤウニ品種ノ關係モアラウト思ヒマス、十分其ノ點研究シテ、早急何トカ決メタイト考ヘテ居リマス

○三善委員 大臣ガ御見エニナリマシタカ

ラ、大臣ニ質問致シタイト思ヒマス、今回土地開發營團ニ依ツテ土地ノ開墾及改良等ヲナサレマシテ米穀ノ増産ヲ圖ラレコトハ、現在ノヤウナ米穀不足ノ際ニ於キマシテ最モ必要ヲ施設ダト考ヘルノデアリマスガ、一面又私共ハ荒廢地ノコトモ考ヘナケレバナラスト思ヒマス、政府ノ方デ折角開墾及ビ土地改良等ヲナサレノデアリマスガ、其ノ反面ニハ相當ナ荒廢地ガ出來テ居ルコトハ洵ニ遺憾ニ思フノデアリマスガ、之ヲ全國的ニ申上ゲマスレバ、十五年ノ休閑荒廢地ヲ調べマスニ、實ニ休閑地ガ六千三百六十三町三反、荒廢ノ田ガ二千七百八十六町五反、荒廢ノ畑ハ六千八百七十九町六反、合計致シマスト十五年度ノ休閑地及ビ荒廢地ト云フモノハ一万六千餘町步ニナツテ居ルノデアリマス、又裏作ノ荒廢田ハ六千三百町步餘デアリマシテ、裏作ノ荒廢ノ畑ガ三千九百四十五町步餘デアリマス、合計致シマスト一万二千四百町步餘ニナリマス、此ノ荒廢地ト裏作ノ荒廢地、休閑地トヲ總計致シマスルト、二万六千二百七十七町步餘ニナリマス、一面ニ折角開墾及ビ改良ヲサレマシテモ、一方ニハ斯ウ云フヤウナ荒廢地ヲ生ズルト云フヤウナコトニナリマシテハ、折角ノ増産計畫モ其ノ目的ヲ達スルコトガ出來ヌデハナイカ、昨日ノ委員會ニ於キマシテ昭和十二年以後ノ米ノ増産計畫ヲ數字ヲ以テ明示セラレタノデアリマスガ、是ハ恐ラク荒廢地ヲ考ヘテ居ラレスノデハナイカ、單ニ開墾及ビ土地改良ニ依ル増産ダケヲ考ヘテ、一方ニ荒廢スル所ノ面積ト云フコトニ付テハ或ハ考慮ニ入レテ居ラレスノデハナイカ、是等ノ荒廢地ガ年々生ズルコトヲ考ヘテ見マス、是等ノ

荒廢地ニ依ル所ノ相當減收モ考ヘナケレバナラスト思ヒマス、其ノ差引ヲ致シマス、決シテ昨日言ハレマシタヤウナ増産ハ出來ヌデハナイカト思ヒマス、隨テ是等ノ荒廢地ヲ或ハ土地開發營團デ經營スルトカ、或ハ地方團體ヲシテ之ヲ管理セシムルトカ、何カサウ云フヤウナ工夫ガナケレバ此ノ荒廢地ヲ防止スルコトガ出來ヌノデハナカラウカト思ヒマスガ、此ノ點ニ付キマシテ大臣ハドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレルノデアリマスカ、一應御伺ヒシテ見タイト思ヒマス

ルコトガ出來ヤウト考ヘルノデアリマス、又ヤラシテ行キタイト考ヘテ居ルノデアリマス、開發營團ヲシテ之ニ當ラシメタルト云フコトニ付テハ、今具體的ニハ考ヘテ居ラヌノデアリマスルケレドモ、開發營團ハ比較的大キナ團地ニ對シマシテ開墾又ハ大規模ノ農業水利ノ改良ヲヤツテ行クト云フコトヲ主タル目的トシテ居ルノデアリマス、併シ場合ニ依リマシテハ只今ノヤウナ比較的廣イ區域ニ互リマスル荒廢地ガアリマシタナラバ、ソレヲ營團ヲシテヤラセルト云フコトモ、全ク出來ナイコトデハナカラウト考ヘテ居リマス、唯併シソレハ恐ラク具體的ノ場合ハ極メテ稀ダラウト考ヘマスガ、ヤラシテ出來ヌコトハナカラウト考ヘテ居リマス、大體從來ノ開墾助成法ニ依リマスル方法ヲ以テマシテヤラシテ行キタイ、或ハ農地開發法トシテヤツテ行クトニナル、斯ウ御諒解ヲ願ヒタイノデアリマス、他面ニハマダ事例ハナイノデアリマスケレドモ、最近ニ出マシテ農地管理令ニ於キマシテモ、是等ニ對シマスル手當ヲヤリ得ル條文ヲ規定ヲ致シテ置イタ譯デアリマス、將來ハ是等ノ利用ニ依リマシテ、耕地ノ減少シテ行クトヲ防イデ參リタイト云フ考ヘヲ持ツテ居リマス

シテモ、昭和十四年ト、十五年トヲ比較致シマス、水田ニ於キマシテ三千三百三十餘町步ノ面積ガ減少致シテ居リマス、畑地ニ於キマシテ約七千町步、合計致シマス、實ニ一万町步餘ノ耕作面積ガ減少致シテ居ルヤウナ情勢デアリマス、而モ此ノ北海道ニ於キマシテ八十四年ニ五千九十一町步ト云フ附與地、所謂個人權利ニ移ル所ノ土地ガアリマスカラ、是等ヲ差引シテ計算致シマス、實ニ一万五千餘町步ト云フモノガ一方ニ荒廢シテ居ルト云フコトニナリマス、地方ノ團體ヲシテ特ニ管理セシムルノ方法ヲ講ゼナケレバ減反ヲ防グコトハ困難デハナイカ、斯様ニ考ヘマシタノデ、只今御聽キ致シマシタガ、大臣モ大體之ニ對シテハ十分ノ御考慮ヲ下サルヤウデアリマスカラ、是レ以上此點ニ付キ質問致シマセヌ

○石黑國務大臣 只今三善サンノ御尋ネノ一面開發ヲ致シテモ他面荒廢地等ニナツテ潰レテ行クト云フコトデアツテハ何ノ役ニモ立タス、ソレ等ニ付テドウ云フ風ニ考ヘテ居ルカ、營團等ヲ地方團體等ヲシテ之ヲヤラセルコトガ宜イト思フガドウカト云フ御尋ネデアリマス、御話ノ通りト存ジマス、之ニ關シマシテハ御承知ノ通りニ從來開墾助成法ノ施設ガアリマシテ、ソレニ依リマシテ荒廢地ノ開墾復舊ヲヤツテ居ルノデアリマス、既ニヤツテ居リマスモノハ二万町步近ク着手シテ居ルヤウニ存ジテ居リマス、十六年度ニ於キマシテモ七千五百町步カラ八千町步ノ開墾助成ニ依リマスル復舊ヲヤルコトニナツテ居ルノデアリマス、斯様ナ方法ニ依リマシテ荒廢地ノ復舊ヲヤルコト云フコトハ今後モ續ケテ參リマス豫定デ居ルノデアリマス、而シテ從來開墾助成法ノヤツテ居リマシタ施設ハ、當農地開發法ノ中ニ包含セラレタルコトニナルノデアリマス、隨ヒマシテ今三善サンノ御話ニナリマシタヤウナ地方ノ團體ヲシテ之ニ當ラセルト云フコトハ、當農地開發法ノ中ノ仕事トシテヤラセ

ルコトガ出來ヤウト考ヘルノデアリマス、又ヤラシテ行キタイト考ヘテ居ルノデアリマス、開發營團ヲシテ之ニ當ラシメタルト云フコトニ付テハ、今具體的ニハ考ヘテ居ラヌノデアリマスルケレドモ、開發營團ハ比較的大キナ團地ニ對シマシテ開墾又ハ大規模ノ農業水利ノ改良ヲヤツテ行クト云フコトヲ主タル目的トシテ居ルノデアリマス、併シ場合ニ依リマシテハ只今ノヤウナ比較的廣イ區域ニ互リマスル荒廢地ガアリマシタナラバ、ソレヲ營團ヲシテヤラセルト云フコトモ、全ク出來ナイコトデハナカラウト考ヘテ居リマス、唯併シソレハ恐ラク具體的ノ場合ハ極メテ稀ダラウト考ヘマスガ、ヤラシテ出來ヌコトハナカラウト考ヘテ居リマス、大體從來ノ開墾助成法ニ依リマスル方法ヲ以テマシテヤラシテ行キタイ、或ハ農地開發法トシテヤツテ行クトニナル、斯ウ御諒解ヲ願ヒタイノデアリマス、他面ニハマダ事例ハナイノデアリマスケレドモ、最近ニ出マシテ農地管理令ニ於キマシテモ、是等ニ對シマスル手當ヲヤリ得ル條文ヲ規定ヲ致シテ置イタ譯デアリマス、將來ハ是等ノ利用ニ依リマシテ、耕地ノ減少シテ行クトヲ防イデ參リタイト云フ考ヘヲ持ツテ居リマス

○三善委員 大體大臣ノ御答辯ニ依リマシテ承知致シタノデアリマスガ、私ハ毎年休閑地及ビ荒廢地ガ多クナルコトヲ非常ニ憂ヘテ居リマス餘リ、營團若シクハ、地方ノ公共團體ヲシテ管理セシムルコトモ一ツノ方法デハナイカ、斯様ニ考ヘマスノデ、申上ゲタヤウナ次第デアリマス、私ガ調査致シタ所ニ依リマス、北海道ノ如キ最モ開墾ノ餘地ガアルト稱サレテ居ル所ニ於キマ

次ニ、我國ノヤウナ所謂小農法ニ依ル所ノ家族勞働ニ依リマスコトハ、人的資源ノ培養上最モ重大ナル意義ヲ持ツコトデアルト思ヒマス、併シナガラ今日勞働力ノ不足トモ容易ナコトデハナイト思ヒマス、然ルニ今回ノ開發營團デ開墾サレルノハ、三千町步以上ノ面積ヲ有スル土地ダト云フコトデアリマスカラ、相當廣イ面積ニ互ルノデハナイカト思ヒマス、斯様ナ面積ニ對シマシテ、自作農ヲ創設サレルコトモ、是ハ餘程至難ガ伴フモノデアルト思ヒマス、畑地ノヤウナモノニ對シテハ、中農法ヲ用ヒルコトモ一ツノ方法デハナカラウカト思ヒマス、私ハ日本ノヤウナ地勢ニ於キマシテハ、ヤハリ家族勞働ニ依ル所ノ小農法ハ已ムヲ得ナイノデアリシ、又一面人的資源

シテモ、昭和十四年ト、十五年トヲ比較致シマス、水田ニ於キマシテ三千三百三十餘町步ノ面積ガ減少致シテ居リマス、畑地ニ於キマシテ約七千町步、合計致シマス、實ニ一万町步餘ノ耕作面積ガ減少致シテ居ルヤウナ情勢デアリマス、而モ此ノ北海道ニ於キマシテ八十四年ニ五千九十一町步ト云フ附與地、所謂個人權利ニ移ル所ノ土地ガアリマスカラ、是等ヲ差引シテ計算致シマス、實ニ一万五千餘町步ト云フモノガ一方ニ荒廢シテ居ルト云フコトニナリマス、地方ノ團體ヲシテ特ニ管理セシムルノ方法ヲ講ゼナケレバ減反ヲ防グコトハ困難デハナイカ、斯様ニ考ヘマシタノデ、只今御聽キ致シマシタガ、大臣モ大體之ニ對シテハ十分ノ御考慮ヲ下サルヤウデアリマスカラ、是レ以上此點ニ付キ質問致シマセヌ

次ニ、我國ノヤウナ所謂小農法ニ依ル所ノ家族勞働ニ依リマスコトハ、人的資源ノ培養上最モ重大ナル意義ヲ持ツコトデアルト思ヒマス、併シナガラ今日勞働力ノ不足トモ容易ナコトデハナイト思ヒマス、然ルニ今回ノ開發營團デ開墾サレルノハ、三千町步以上ノ面積ヲ有スル土地ダト云フコトデアリマスカラ、相當廣イ面積ニ互ルノデハナイカト思ヒマス、斯様ナ面積ニ對シマシテ、自作農ヲ創設サレルコトモ、是ハ餘程至難ガ伴フモノデアルト思ヒマス、畑地ノヤウナモノニ對シテハ、中農法ヲ用ヒルコトモ一ツノ方法デハナカラウカト思ヒマス、私ハ日本ノヤウナ地勢ニ於キマシテハ、ヤハリ家族勞働ニ依ル所ノ小農法ハ已ムヲ得ナイノデアリシ、又一面人的資源

次ニ、我國ノヤウナ所謂小農法ニ依ル所ノ家族勞働ニ依リマスコトハ、人的資源ノ培養上最モ重大ナル意義ヲ持ツコトデアルト思ヒマス、併シナガラ今日勞働力ノ不足トモ容易ナコトデハナイト思ヒマス、然ルニ今回ノ開發營團デ開墾サレルノハ、三千町步以上ノ面積ヲ有スル土地ダト云フコトデアリマスカラ、相當廣イ面積ニ互ルノデハナイカト思ヒマス、斯様ナ面積ニ對シマシテ、自作農ヲ創設サレルコトモ、是ハ餘程至難ガ伴フモノデアルト思ヒマス、畑地ノヤウナモノニ對シテハ、中農法ヲ用ヒルコトモ一ツノ方法デハナカラウカト思ヒマス、私ハ日本ノヤウナ地勢ニ於キマシテハ、ヤハリ家族勞働ニ依ル所ノ小農法ハ已ムヲ得ナイノデアリシ、又一面人的資源

次ニ、我國ノヤウナ所謂小農法ニ依ル所ノ家族勞働ニ依リマスコトハ、人的資源ノ培養上最モ重大ナル意義ヲ持ツコトデアルト思ヒマス、併シナガラ今日勞働力ノ不足トモ容易ナコトデハナイト思ヒマス、然ルニ今回ノ開發營團デ開墾サレルノハ、三千町步以上ノ面積ヲ有スル土地ダト云フコトデアリマスカラ、相當廣イ面積ニ互ルノデハナイカト思ヒマス、斯様ナ面積ニ對シマシテ、自作農ヲ創設サレルコトモ、是ハ餘程至難ガ伴フモノデアルト思ヒマス、畑地ノヤウナモノニ對シテハ、中農法ヲ用ヒルコトモ一ツノ方法デハナカラウカト思ヒマス、私ハ日本ノヤウナ地勢ニ於キマシテハ、ヤハリ家族勞働ニ依ル所ノ小農法ハ已ムヲ得ナイノデアリシ、又一面人的資源

培養上重大な別個ノ意義ヲ持ツテ居ルモノ
デアルト思ヒマシテ、自作農ヲ希望スルモ
ノデアリマス、併シナガラ畑地等ニアリマ
シテハ、目下ノ急ニ應ズル爲ニハ中農法位
ノモノモ茲ニ適用スルコトモ如何カト考ヘ
ルノデアリマス、之ニ對シ大臣ハ如何ナル
御見解ヲ持ツテ居ラレカヲ御説明願ヒタ
イト思ヒマス

○石黒國務大臣 只今三善サンノ御尋ネノ
點デアリマスガ、御承知ノ通り我が國ノ農
地及ビ農地タリ得ル土地ノ狀況ヲ御覽戴キ
マス、大體非常ニ大キナ平原ト云フモノハ
既耕地ニナツテ居ルモノガ多イ、隨ヒマシ
テ水利ノ改良ト云フヤウナ方面カラ致シマ
スル開發ハ、是ハ存外廣大ナル地域ニ互リ
マシテ、大キナ土工ヲ起サナケレバ出來ナ
イト云フ關係上、改良ノ十分ニナツテ居ラ
ヌ土地ガマダ澤山殘ツテ居リマス、サウ云
フ所ヲ開發營團ハ主トシテ見込ミマシテ、
施行致ス譯デアリマス、開墾ノ方ハ土地ハ
サウ固マツテ居ル大キイ所ト云フノハ割合
少イノデアリマス、ソコデ凡ソノ見當ヲ五
十町歩ト云フコトニ致シテ居ル譯デアリマ
ス、五十町歩ノ開墾ト云フモノニナリマス
ト、之ヲ分ケマスコトハサウ大キク使用シ
ナイデモ、其ノ地方々々ノ農家ノ希望者ヲ
集メマシテ、サウシテ自作農創設ヲ趣旨ト
シタ分ケ方ニ依ツテ分ケ得ル程度ノモノデ
アルト考ヘルノデアリマス、御話ノヤウニ
我が國民ノ源泉ト致シマシテ、多數ノ農家
ヲ定有シテ居ルト云フコトハ國トシテ非常
ニ必要ナコトデアル、ソレヲ一面目途ト致
シ、一方農產物ノ生産ニ於キマシテモ經營
モ樂ニ、又賣出シ得ル農產物數量モ相當ニ
餘計ニ、凡ユル觀點カラ致シマシテ經濟的デ

アルト云フ程度ノ大イサノ自作農ニスルト
云フコトヲサセマシテ、開墾地ヲ獎勵シテ
行クト云フコトニ致シタイト云フ點ハ重要
ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、三善サンノ御
話ノ、中々努力ノ點モ考ヘナケレバナラヌ
時代デアルカラ、小農ト云フコトデナクシ
テ、中農のニ行クト云フコトガ宜イデハナ
イカト云フ御考ヘハ、所謂中農ト云フコト
ドウ云フ風ニ御考ヘニナルカト云フコトニ
依ツテ多少違ヒガアルカト思ヒマスガ、若
シモ只今ノ平均農家ノ程度ヨリモ少シ大キ
ナシツカリシタ農家ヲ將來立テ行クト云
フ意味デ仰シヤツタナラバ、新タニ設ケマ
スル開墾地ノ自作農ト云フモノハ、其ノ意
味ノ農家ニ仕立テテ行クト云フ考ヘヲ持ツ
テ居リマスカラ、全ク御意見ト一致スルコト
ト考ヘマス、若シ中農ト云フコトニ付テ
御意見ガソレヨリモモツト大キナ、或ハ家
族労働ヲ中心トスルト云フノデハナクシテ、
常ニ一定數ノ農業労働者ヲ雇傭シテ、サウ
シテ定數ノ雇傭労働者ト云フモノヲ使ツテ
ヤツテ行ク經營デアツテ、サウシテソレガ
非常ナ大規模ト云フモノデナイト云フ程度
ノモノデアルトスレバ、ソレハ只今當局ト
致シマシテハ考ヘテ居リマセヌ、機械ノ利
用等ハ移住セシムル際ニ共同施設トシテ十
分ニ考ヘハ致シテ居リマスケレドモ、一經
營ヲ相當ノ程度ノ大キナ、雇傭労働者ヲ數人
入レテヤルト云フヤウナ程度ノモノニシテ
行カウト云フ考ヘハ持ツテ居ラナイノデア
リマス、大體其ノ程度デ御諒承願ヒマス

○三善委員 私ノ申上ガマシタノハ自作農
ヲ本位トスルノデアリマス、自作農ヲ本位
ト致シマスケレドモ、現在我が國ノ平均耕
作面積一町五畝内外デハ是ハ到底ヤツテ行
ケヌデハナイカト思ヒマスノデ、小農組織
デナクシテモウ少シ大キナ面積ヲ保有スル
ヤウナ所謂自作農ニシナケレバナラヌト思
ヒマス、ソコデ大臣ノ今言ハレマシタ通り
ニ、機械力等ヲ利用シ得ラレルヤウナ程度
ノ自作農ニシナケレバ、労働力ノ不足ノ際
ニヤツテ行ケヌデハナイカ、斯様ニ考ヘマ
ス、今日機械力トカ電力トカ云フコトヲ往
往申サレマスケレドモ、今日ノヤウナ耕地
ノ狀態デハ、機械力ノ利用モ、或ハ電力ノ
利用モ容易デアリマセヌ、ソコデ若シ私ノ
申シマス通りニ中農のニ少クトモ五町歩ト
カ或ハ三町歩トカ云フ程度ヲ保有セシムル
コトニナリマス、ソレニ從ツテ開墾ノ方
法モ變ツテ行カケレバナラヌト思ヒマス、
從來ノ開墾ハ、農林省デ企テラレテ居ルノ
ハ、大抵其ノ單位耕地ノ面積ハ一反歩、或
ハ一反五畝歩位デアリマスガ、私ノ申シマ
スヤウナ自作農ニ致スコトニナリマス、
其ノ耕地ノ一區劃モヤハリ相當ノ面積ニシ
ナケレバナラヌト思ヒマス、ソレガ所謂機
械力ヲ利用シ、電力ヲ利用スルニハ最モ必
要ダト思ヒマスカラ、此ノ點ヲ御聽キシタ
ヤウナ次第デアリマシテ、其ノ點ガ若シ私
ノ意見ト一致スレバ洵ニ仕合セト思ヒマス
ガ、此ノ點ハ更ニ御聽キ致シテ見タイト思
ヒマス

次ニ一般的ニハ自作農ヲ目的ト致シマス
ノデ、之ニ對シテハドノ程度ノ反別ヲ割當
テラルコトガ一番適當デアルカ、或ハ農
家經營ノ上カラ申シマシテモ、一面今日ノ
労働力ノ不足ノ點カラ申シマシテモ、之ヲ
管理シ、經營スル上ニ於テドノ程度ガ一番
必要デアルカト云フコトニ付テ、御腹案ガ
アリマスレバ承ツテ見タイト思ヒマス

○石黒國務大臣 只今ノ御尋ネデ御意見ハ
能ク分リマシタ、同ジヤウナ考ヲ當局トシ
テモ持ツテ居ルノデアリマス、今ノ平均ノ
反別等デハ非常ニ少イノデ、然ラバドノ位
ヲ適當ナ面積ト見ルヤト云フコトニ關シマ
シテハ、是ハ隨分喧シイ研究問題ニナルト
思フノデアリマス、現内閣ニ於キマシテ
モ、此ノ點ニ關シマシテ詳細ナル調査ヲス
ル費用モ取ツテ、只今調査ヲ進メルコトニ
ナツテ居ルノデアリマス、唯此ノ問題ヲ學
問的ニ研究スルト云フト、非常ニ細カク喧
シイ問題ニナリマスガ、サウ云フコトガ果
シテ必要ナノカドウカト云フコトニ、稍、私
ハ疑問ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、ソレ
ヨリモ大凡ノ見當ハ常識デ付クノダカラ、
大凡ノ見當ヲ付ケテ、サウシテ寧ロソレ

ソレカラ移住家屋ノコトデアリマスガ、
是ハ營團デオヤリニナルノデアリマセウ
カ、或ハ別個ニ政府ガ移住家屋等ニ付テ御
考ヘニナルノデアリマセウカ、私ハ内地農
民ノ移住計畫ト云フコトヲヤラナケレバ、
自作農創設ハ出來ヌト思ヒマス、元來内地ノ
農村ノ狀態ヲ見マス、一面ニハ労働力ガ
稍、緩和サレテ居ル所モアリマス、併シナガ
ラ一面ニハ非常ニ労働力ノ不足ヲ訴ヘテ居
ル所モアル狀態デ、必ズシモ均一デアリマ
セヌ、隨テ内地移住ト云フコトガ開墾ト同
時ニ考ヘラレナケレバナラヌ問題ダト思ヒ
マス、内地移住ニ對スル根本方針ヲドウ云
フ風ニ御考ヘニナツテ居ラレカ、此ノ事
ハ開墾ト同時ニ考慮スベキ問題ダト思ヒマ
スカラ、此ノ點ヲ承ツテ見タイト思ヒマス

○村上委員長 三善君、大臣ハ十二時ニハ
他ニ御用ガアルト云フコトデアリマスカ
ラ、其ノ御積リデ御聽キ願ヒマス
○石黒國務大臣 只今ノ御尋ネデ御意見ハ
能ク分リマシタ、同ジヤウナ考ヲ當局トシ
テモ持ツテ居ルノデアリマス、今ノ平均ノ
反別等デハ非常ニ少イノデ、然ラバドノ位
ヲ適當ナ面積ト見ルヤト云フコトニ關シマ
シテハ、是ハ隨分喧シイ研究問題ニナルト
思フノデアリマス、現内閣ニ於キマシテ
モ、此ノ點ニ關シマシテ詳細ナル調査ヲス
ル費用モ取ツテ、只今調査ヲ進メルコトニ
ナツテ居ルノデアリマス、唯此ノ問題ヲ學
問的ニ研究スルト云フト、非常ニ細カク喧
シイ問題ニナリマスガ、サウ云フコトガ果
シテ必要ナノカドウカト云フコトニ、稍、私
ハ疑問ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、ソレ
ヨリモ大凡ノ見當ハ常識デ付クノダカラ、
大凡ノ見當ヲ付ケテ、サウシテ寧ロソレ

實行ニ早ク現ハス方宜イデハナイカト云フヤウナ考ヲ私ハ持ツテ居ルノデアリマス、サウ云フ詳細ナ研究ガ盡キテカラヤルノダト云フ問題デナイト私ハ思ツテ居リマス、ソコデ大凡ノ見當ヲ付ケテヤルコトトシマシテ、地方ニ依ツテ違ヒガアラウト思ヒマス、關西ノ方ト東北ノ方トハ大變違ハナケレバナラヌト思フ、ソコデ一樣ニハ申セマセヌケレドモ、二町歩乃至三町歩位ノ所ハ考ヘナケレバナイデハナイカ、或ハ所ニ依ツテハモウ少シ餘計考ヘナケレバナイデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマスガ、是ハ地方的ニ能ク考慮致シマシテ、能ク考慮スルト言ツテモ、詳細ナ學問的研究ト云フコトデナク、實際ノ上カラ見テ見當ハ付ケ得ヨウト思ヒマスカラ、大體先ツヤツテ行ツテ、サウシテ調査モ結構デアリマスカラ、竝行シテヤツテ、サウシテサウ云フモノガ立派ニ出來レバ、ソレニ依ツテ直シテ行ク、ソレ以後ノモノハ、サウ云フ風ニシテ進ンデ行ツタラドウダラウカト云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス

セタイト云フ考ヘテ持ツテ居ルノデアリマス、他ノ國ノ内地開發移住ノ施設ヲ見マシテモ、此ノ點ハ可ナリ綿密ナ世話ヲシテヤツテ居リマス事例ヲ、私共持ツテ歸ツテ居ルヤウナコトガアリマス、開發營團ニ對シマシテハ、ソレ等ヲ提示致シマシテ、親切ナ世話ヲサセルヤウニ致シタイト云フ考ヘテ持ツテ居リマス

○三善委員、只今ノ御答辯ニ依リマシテ、大體ノ耕作反別、面積等ニ付テノ御見解ヲ承知シタノデアリマスガ、私ハ之ニ對シマシテ、色々學問的ニ研究スルコトモ必要ダト思ヒマスケレドモ、ヤハリ眼前ニ食糧問題、開發問題ト云フコトガ横タハツテ居リマスノデ、速カニ此ノ計畫ヲ立テラレマシテ、之ニ應ズル機械力利用ノコトヲモ充分ニ考慮セラレ、善處サレンコトヲ要望シテ置キタイト思ヒマス、マダ外ニアリマスケレドモ、大臣ハ十二時ニハ他ノ委員會ニオイデニナルト云フコトデアリマスカラ、他ノ政府委員ニ御尋ネスルコトニ致シマシテ、大臣ニ對シテノ御質問ハ此ノ程度ニ止メマス

先程甘藷ノ點ニ付テ御伺ヒ致シマシタガ、私ハ甘藷ノ利用ト云フコトニ付キマシテハ、食用トスルコトハ最モ必要ダト思ヒマスケレドモ、一方酒ノ原料トシテ甘藷ヲ利用スルコトガ、節米ノ點カラ言ツテモ效果ガアルノデハナカラウカト思ヒマス、勿論酒ト云フモノハ嗜好品デアリマス、其ノ原料ヲ甘藷ニミ依ルコトハ出來マセヌケレドモ、現在酒ノ原料トシテ二百五十万石餘モ米ヲ使ツテ居ルノデアリマスカラ、之ヲ甘藷ヲ原料ニサレタナラバ、私ハ一面米ノ節約モ出來ルノデハナカラウカト思ヒマス、今假ニ米

一石カラ一石ノ酒ガ出來ルト致シマス、一反當リ平均ノ米ノ產額ハ二石デアリマスカラ、水田一反歩カラ二石ノ清酒ガ出來ルトニナリマス、ソレカラ甘藷ノ一反當リハ現在三百三十貫デアリマシテ、此ノ三百三十貫カラ先ヅ一石ノ無水「アルコール」ガ出來、其ノ無水「アルコール」カラ六石ノ清酒ガ出來ル、ソコデ結論シマス、水田一反カラ二石ノ清酒ガ出來、畑地一反カラ甘藷ヲ原料ト致シマス、六石ノ清酒ガ出來ルト云フコトニナリマス、隨テ食糧問題ノ此ノ緊迫セル場合ニ於キマシテハ、甘藷ヲ原料トシテ清酒ヲ造ツタ方ガ米ノ節約ノ上ニ相當效果ガアルノデナカラウカ、而モ今日ハ酒ガ少ク、地方ノ勞働者ハ酒ヲ飲マナケレバ働カヌト云フヤウナ狀態ニ於キマシテ、甘藷ヲ原料トシテ製造スレバ、相當ノ多量ノ清酒ヲ製造スルコトガ出來、利用ノ方面カラ言ツテモ非常ニ宜イノデハナイカト思ヒマス、此ノ點ニ付テハ餘程御研究ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス、而モ製造法ノ如キハ、既ニ十分檢討セラレマシテ、殆ド普通ノ清酒ト變ラナイヤウナ立派ナモノガ出來ルノデアリマスノデ、食糧問題ト關聯シテ充分御研究ヲ願ツテ置キマス

次ニ先程甘藷ノ利用ノ問題ニ付キマシテハ、食用ニサレルト言ハレマシタガ、澱粉ニスルコトガ一番宜イト思フ、澱粉ハ御承知ノ通り絕對ニ腐敗致シマセヌ、又殆ド蟲害モナイ、サウ云フ狀態デアリマスカラ、澱粉トシテ或ハ餛飩、素麵、蕎麥、支那蕎麥、唐麵、斯ウ云フヤウナ麵類ニ混用致シマス、相當消化ガ容易デアル、而モ麵類ハ今日先ヅ十萬「トシ」以上消費セラレマスカラ、之ニ三割混用スルトスルト、三萬「ト

シ」ノ甘藷澱粉ヲ利用スルコトガ出來ルト思ヒマスカラ、ヤハリ麵類ニ混用シテ利用スルコトガ甘藷ノ利用價值ノ上ニ一番宜イノデハナイカト思ヒマスノデ、私ハ澱粉トシテ利用スルコトガ、之ヲ貯藏スル上カラ言ツテモ、或ハ其ノ他利用ノ方面カラ言ツテモ最モ利用價值ガ多イノデハナカラウカト思フノデアリマスガ、此ノ點ハ政府當局ハ如何ニ考ヘテ居ラレマス、承ツテ見タイト思ヒマス、是ハ獨リ甘藷ノミデアリマセヌ、馬鈴薯モ澱粉ニシテ宜シイノデアリマス、殊ニ關西方面デハ水田ヲ二毛作若クハ三毛作ヲシテ、麥ノ間ニ馬鈴薯ヲ植エ、稻植付前ニ收穫シ、是カラ澱粉ガ容易ニ取レルノデアリマス、サウ云フコトモ配合ハセマス、食糧問題ニ相當效果ガアルノデハナカラウカ、餘リ米ノミニ付テ考ヘズニ甘藷、馬鈴薯ノ方面ニ今少シ力ヲ注グナラバ、食糧問題ノ解決ハ心配セヌデモ宜イト思フ、甘藷ノ増産ニ付テハ私ハ豫算總會デモ述べテ置キマシタカラ、一應アノ記錄ヲ御覽下サレバ、容易ニ甘藷ノ増産ガ出來ルト思ヒマスカラ、ソレヲ申上ゲマシテ併セテ政府ノ御意向ヲ承リタイノデアリマス

○湯河政府委員、三善サンノ只今ノ御話ハ實ハ私共モ洵ニ御同感ニ存ジマス、農林省ニ於キマシテ此ノ問題ヲ研究致シマス際ニ、技術官等トモ十分打合セテ致シマシテ、其ノ際ニ三善サンカラ只今伺ヒマシタト同様ナ話ヲ承ツタノデアリマス、先ヅ甘藷ノ用ヒ方トシテ合成酒ヲ造ツタラドウカ、ソレニ依ツテ米ヲ浮カセルノガ本當ノ行キ方デハナカラウカ、モウ一ツハ澱粉ヲ甘藷ヲ造ルト云フコトデアリマシタ、色々研究シテ見マス、成程サウ云フ行キ方ヲシテ米ヲ

浮カセルコトノ方ガ本當ノ行キ方デハナイ
カト云フ風ニモ實ハ思ハレルノデアリマス、
サウ云フコトニ付キマシテハ吾々ト致シ
マシテハ、是カラ先ノ長イ問題トシテ十分
研究シテ見タイと思ツテ居リマス、此ノ前
モ此處申上ダタノデアリマスガ、食糧研
究費ヲ若干取リマシテ——今カラ研究スル
ノハ如何カト云フ御話モアリマシタケレド
モ、吾々ト致シマシテハ是カラ先長イ事ヲ
考ヘテ、是非サウ云フ甘藷ノ問題モ本格的
ニ結論ヲ出シテ行キタイト云フヤウニ考ヘ
テ居リマス、唯現在ノ差迫ツタ情勢上、ド
ウモソレニ依ツテ酒屋ヲ潰スト申シマスカ、
轉廢業サシテ米ヲ浮カセルト云フコトモ中
中容易ナラスコトデゴザイマスシ、差迫リ
マシタ情勢上カラ、先程申シマシタヤウナ
非常ニ是カラ研究ヲ要シナケレバナラヌ問
題ヲ抱キナガラ、甘藷ヲ利用スルコトヲ考ヘテ
居ルノデアリマス、御趣旨ノ點ハ吾々ト致
シマシテモ今後十分研究シテ参リタイト考
ヘテ居リマス、ソレカラ豫算總會ニ於キマ
シテ非常ニ御熱心ニ御主張ニナリマシタコ
トハ、其ノ當時私モ承ツテ居リマシタノデ、
今後サウ云フヤウナコトモ十分頭ノ中ニ入
レテ行キタイと思ツテ居リマス

○村上委員長 午後二時マデ休憩致シマス
午後零時十分休憩

午後二時二十分開議
○村上委員長 ソレデハ休憩前ニ引續イデ
會議ヲ開キマス——本會議トノ都合ニ依リ
マシテ三時半マデ休憩致シマス
午後二時二十一分休憩

午後三時五十三分開議
○村上委員長 休憩前ニ引續イテ是ヨリ會

議ヲ開キマス——須永君、一寸申上ダテ置
キマスガ、若シ大臣ニ對スル御質問ガアル
ヤウデシタラ、ソレハ保留サレテ戴キタイ
ト思ヒマス

○須永委員 大臣ニ對スル質問ハ保留致シ
マシテ、二三御伺ヒシタイと思ヒマス、農
地ノ開發ヲヤルト致シマシテモ、特殊ナ營
團ノ力ニ依ツテ開發スル部分ニ付テハ、大
シテ支障ニモナラナイと思フノデアリマス
ガ、一般ニ開發シヨウトスル場合ニ、農產
物ノ價格ト他ノ價格トノ關係デ一番憂慮サ
レマスノハ、開墾ニ適スルヤウナ地域ノ山
林立木ノ價格ガ非常ニ騰貴シテ居ルコトデ
アリマス、例ヘバ開墾シテ畑ニシテ之ヲ小
作セシメル場合ニ於キマシテハ、所ニ依ツ
テ違フカモ知レマセヌガ、群馬縣地方ニ付
テ見マス、大體一反ノ小作料ハ六、七圓
カラ十四、五圓ノ間デアリマス、然ルニ奥
地ノ山ハ別トシテ、平坦地ニアル山林ノ立
木ノ今日ノ賣買價格ヲ見マス、大概十二、
三年立ノ立木ガ三百圓位ナ賣買價格ニナツ
テ居ルノデアリマス、斯様ニ山林立木ノ價
格ガ非常ニ高クナツテ居リマス、最近ハ
寧ロ開墾シテ小作料ヲ取ルヨリモ、山ニシ
テ立木ヲ育テル方ガ利益ガ非常ニ多イ、斯
ウ云フ關係サヘモ持ツテ參ツテ居リマスノ
デ、近頃其ノ土地ガ便利デアリ、而モ耕作
ニ適シテ居リ、肥沃デ木ガ育ツト云フ所程、
開墾ヲ拒ムヤウナ情勢ニアルノデアリマス、
ソレハ大體何ニ因ルカト言ヘバ、非常ニ燃
料ガ騰貴シテ居ルコトモ一ツデアリマスガ、
平坦地デアレバアル程、立木ヲ伐採シテソ
レヲ搬出スルノニ非常ニ便利デアアル、運賃
ガ掛ラナイ、今日山ノ奥カラ町等ニ持出ス
場合ノ運賃ハ、殆下原木ノ價格ヨリモモツ

ト高ク付クガ、平坦地ノ場合ハソレガ殆ド
山デ賣買ガ出來ルト云フ關係ガアリマスノ
デ、平坦地デ開墾ニ適スル所程、寧ロ山ニ
シテ置イテ開墾ヲ控ヘル、ソレノミカ最近
少シク勢力ガ不足シテ參リマス、寧ロ櫟
等ヲ植エテ山林ニ替ヘル方ガ利益ガ多イ、
又一部ニ於キマシテハ、桐苗等ヲ植エテ之
ヲ育テル方ガ宜イト云フ傾向サヘモアル
ノデアリマス、是等ニ付キマシテハ農地管
理令ト云フヤウナモノガ出マシテ、一度開
墾サレタ畑ニ付テハ、是ガドウカサレルコ
トヲ一應抑ヘル方法モアルト思ヒマスガ、
併シ現在山林デアアルモノヲ、開墾ニ適スル
カラト云ウテ、之ヲ開墾サセルコトハ困難
ナ狀態ニナツテ來テ居リマス、斯ウ云フコ
トデアリマシテ、山林ガ開墾サレルト云フ
コトニ非常ナ支障ヲ來シテ居ルト思ヒマス、
之ニ對シテドウ云フ御見解ヲ持ツテ居ラレ
マスルカ、又他ノ農作物ノ價格ガ高過ギ
ル——ト云フコトデモナイカモ知レマセヌガ、
農作物ノ價格ノ上ニ於キマシテ、色々ナ決
定方法ガアル、例ヘバ陸稻ヲ作ツテ一反五
俵假ニ穫ツテ見マシテモ、僅カ七十五圓カソ
コヲノ收入シカナイ、然ルニ之ヲ果樹園ニ
致シマス、一反デ千圓モ上ゲテ居ル、餘
リニ農作物ノ價格ノ相違ガ甚ダシ過ギル爲
ニ、主要作物ニ重點ヲ置クト言ヒナガラ、
實際上ハ重點ヲ置クトガ出來ナイ、自然
ニ肥料等モ米麥ニ配給セラレタルモノガ、
他ノ利益ノ多イモノニ使用セラレ、若シク
ハ耕作反別ハ減ラシテモ、果樹園トカ或ハ
蔬菜トカ云フヤウナ集約ナ農業ノ方ニ傾
向ガ向イテ居ル、斯ウ云フ傾向ガ私ハ顯著
デアルト思フノデアリマス、此ノ點ニ付キ
マシテ當局ノ御考ヘヲ伺ヒタイと思ヒマス

○岸政府委員 須永サシノ御意見ハ、初メ
ノ方ハ斯ウ云フヤウニ開墾ヲヤツテ行カウ
トスルケレドモ、今ノ立木ノアル林地デハ、
其ノ生産物タル所ノ木材等ガ高イカラ、中々
之ヲ畑ニスルト云フコトヲシナイト云フ
傾向ガアルカラ、困難ガアリハシナイカト
云フ御話デアリマス、勿論ハサウ云フ傾
向ハアルダラウト考ヘマス、併シ立木ノア
ルモノニ付テハ立木ヲ處分シテ收入ヲ舉ゲ、
土地ニ付テハ土地デ之ヲ買ヒ取ルト云フ方
針ヲ執ツテ居リマスカラ、ソコニ話合ヒノ
付ク點ガ見出サレ得ルノデハナイカ、斯様
ニ考ヘテ居リマス、是ハ實際問題トシテ處
置シテ行カナケレバナラスコトデアラウト
思フノデアリマス、大規模開墾ノ問題デア
リマスレバ、各種ノ條件ヲ持ツテ居ル土地
ガアリマスカラ、比較的サウ云フ條件デ經
費ガ高ク掛ルト云フ所ヲ、又安イ所ヲ以テ
埋合ハシテ行キマスレバ、終局ノ目的デ
アル土地ヲ拓イテ、サウシテ比較的安ク提
供スルト云フヤウナコトモ、其ノ方法デア
レルノデハナイカト思ツテ居リマスノデ、
實情ニ即シテ取扱ツテ行カナケレバナラス
ト思ツテ居リマス

ソレカラ第二ノ問題ノ農作物ノ價格ニ色
色差ガアル、隨デコナラガ目指シテ居ル所
ノ米麥ヲ作ルヨリモ、他ノ作物、例ヘバ園
藝作物ヲ作ル方ガ宜イト云フ方向ニ走ラウ
トスル傾向ガアルガ、是ガ支障ニナリハシ
ナイカト云フ御尋ネノヤウニ思ヒマス、固
ヨリハサウ云フ點ガ十分アルコトハ認メ
ラレマス、是等ノ點ニ付キマシテハ、現在
御承知ノヤウニ農地ノ管理令等モ出マシテ、
國家目的ニ副フヤウニ指導シ得ルヤウナ體
制モ整ヘテ居リマスノデ、之ヲ直グニ發動

シテ作付ラドウスルト云フコトハ、餘程慎重ニシナケレバナラスト思ヒマス、兎ニ角指導ニ依ツテモ現在其ノモノガ使用目的ニ向ケラレルヤウニ誘導シテ行カナケレバナラス、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○須永委員 只今ノ御答ヘデ大體分リマシタガ、唯私ハ山林立木ガ高イカラ、開墾ノ經費ガ掛ルト云フ趣旨デハナイノデアリマス、非常ニ立木ガ高ク賣レル現狀ニ於テハ、開墾シテ現在ノ普通ノ小作料デ之ヲ貸付ケルヨリモ、寧ロ山林ニシテ置ク方ガ有利ダト云フコトノ爲ニ、開墾ニナルベキ可能限ノアル土地ガ、寧ロ近頃ハ山林地トシテ利用サレル、若シ之ヲ放任シテ置ケバ、畑ガ山林ニ變ル傾向サヘアルノデハナイカ、斯ウ云フヤウニ思ハレル點ニ付テ御伺ヒシタ譯デアリマス、之ニ付テ更ニ御尋ネシタイコトハ、一體山林ノ立木ト云フモノニ付テ、農林省ノ方ニ於キマシテハ、現在ノ儘放任シテ置イテ差支ヘナイト御考ヘニナルカドウカト云フコトデアリマス、最近色色ナ物價ハ公定價格ニ依ツテ抑ヘラレテ居リマスノデ、低物價ト云フ方針ノ下ニ行ツテ居ルノデアリマスガ、米ノヤウナ同ジ生活必需品デアリマシテモ、相當努力ヲ掛ケ、而モ肥料ヲ與レ、サウシテ今日ノ物價ノ高クナツタ時代ニ於テ、其ノ情勢ノ中デ、生産費ヲ掛ケテ生産シタモノサヘ價格ハ停止シテ置カナケレバナラナイト云フ今日ニ於テ、一體肥料モ與ヘズ、努力モ掛ケズニ、唯自然ニ發育シテ居ル所ノ立木ダケハ、恐ラク戰前ニ比ベテ非常ナ騰貴ヲシテ居ルト思フノデアリマス、今日ニ於キマシテモ場所ニ依ツテハドウカ知リマセヌガ、私ノ地方等ニ於キマシテハ、恐ラク農家ガ現金ヲ支出

シテ一番買ハナケレバナラス生活ノ必需品ハ、山ニ入ツテ行ケバサウデモアリマセヌガ、平坦地ノ農村ニ於キマシテハ瓦斯ハアリマセヌシ、木炭ハ勿論配給サレマセヌシ、結局山カラ伐リ出サレル薪、枝等ニ依ツテ、毎日ノ食事ノ炊爨等ヲヤルノデアリマスケレドモ、非常ニ騰貴ヲシテ居リマス、薪其ノモノニ付テハ、最近公定價格ガ出來前ニ比ベルト倍ノ價格ニナツテ居リマスガ立木ニ至リマシテハ去年ノ立木價格ニ比ベテ本年ハ更ニ騰貴シテ居リマス、隨テ薪ガ必要デアルニ拘ラズ、薪ヲ伐リ出スコトガ出來ナイ、サウ云フコトデ今年アタリ百姓ガ薪ヲ伐ルコトガ出來ナイ爲ニ、燃料ヲ作ルコトガ出來ナイデ、非常ニ困ツテ居ル、併シ之ヲ強制的ニ伐採サセル方法ハアリマセヌシ、一定ノ價格デ伐ラセル方法ハアリマセヌカラ、山主ノ先ヅ要求通りノ價格ヲ出サナケレバ買ヘナイ、ソコデ闇相場ヲ出シテモ立木ヲ伐採ヲ致シマシテ、之ヲ薪ニ切ルトカ、之ヲ運搬スルトカ云フヤウナコトハ自分ノ努力デ、全ク無償デ働イデモ、公定價格ノ程度デ自分ノ手ニ入レルヨリ外ニ方法ハナイ、斯ウ云フコトニナツテ居ルノガ現狀デアリマスガ、之ニ對シテ農林省ハ立木ニ對シテハ將來之ヲ公定價格ニスルトカ、或ハ強制伐採ヲサセルトカ、何カ統制スル御意思ガアルモノカドウカ、伺ヒタイト思ヒマス

○井出政府委員 最近木材ト木炭ト林産物等ガ値上リヲ致シマシタトコニ伴ヒマシテ、御話ノヤウニ立木ガ相當騰貴ノ傾向ニアリマスコトハ、其ノ通りニ考ヘマス、併シナガラ此ノ立木ノ斯様ナ不當ニ騰貴ヲシテ居ル場所ノアルヤウナ部分ニ付キマシテハ、之ヲ相當抑制致シテ參ル必要ハ感ジテ居リマス、ソコデ用材ニ付キマシテハ、昨年末公定價格ヲ定メマシタ、隨ヒマシテ山元ニ於キマスル立木カラ伐ラレマスル素材ノ價格ハ、一定ノ限度以上ニ騰貴セシメナイデ置クヤウニ確立致サレテ居ル譯デアリマス、ソレカラ薪炭林、殊ニ開墾適地等ニ最モ關係ノアリマスル薪炭林等ニ付キマシテハ、木炭ノ公定價格ヲ實施スルコトニ伴ヒマシテ、木炭ノ生産費ヲ構成スル薪炭林ノ立木價格ト云フモノガ騰貴シタノデハ相成リマセヌ、左様ナ見地カラ申シマシテモ、之ヲ騰貴セシメナイ傾向ヲ取リタイト云フ所カラ、昨年薪炭材需給調整規則ヲ制定致シマシテ、薪炭原本ヲ要求スル者ニ對シマシテハ、一定ノ基準價格ヲ以テ賣ラナケレバナラナイト云フヤウナ制度等ヲ設ケマシテ、其ノ薪炭林ノ立木ノ價格騰貴ノ抑制ヲシテ居ル譯デアリマス、又同ジク薪ニ付キマシテハ御話ノアリマシタヤウニ、薪ノ價格ヲソレモ、各府縣ニ公定セシメマシテ、ソレニ伴ツテ薪炭林ノ立木價格ヲ調整シテ參ルヤウニシテ居ル譯デアリマス、ソレカラ話ガ元ヘ戻リマスガ、用材ノ立木ニ付キマシテハ、用材自體ノ價格騰貴ヲ致シマシタコトニ伴ツテ、之ニ比例シテ不當ニ立木ガ思惑ノ對象等ニナリマシテ騰貴致シタノデハ面白クアリマセヌノデ、總動員法ニ依リマシテ是等ノ用材林ノ立木ノ價格、其ノ森林ノ素地ノ價格等モ何レモ之ヲ騰貴セシメザルヤウニ、大體昭和十四年ノ九月十八日以降ニ於キマシテ賣買セラレマシタ最初ノ價格ニ、或ル一定ノ整調料等ニ依ル價格ノ増加ヲ見込分以上ニハ、之ヲ騰貴セシメ

ナイト云フヤウナ趣旨ニ於キマシテノ抑制策ヲ執リタイト云フコトデ、只今其ノ準備ヲ致シテ居ル譯デアリマス

○須永委員 色々統制其ノ他ガ行ハレテ居ルヤウニ承ツテ居リマスルガ、中々實際ニハ是ガ效果ヲ生ジマセヌノデ、私ノ田舎等ニ於キマシテハ、若シ公定價格デ薪ヲ求メヨウトスレバ求メルコトガ出來ズ、ソレデ何時ニナツテモ山主ハ山ヲ強制的ニ伐ラサセルノデナイノデアリマスカラ、伐ラズニ居ルト云フ譯デアリマス、前ニ申シマシタヤウニ、農家ハ結局山ヲ薪デ買フコトガ出來マセヌカラ、山ヲ山主ガ要求スルダケノ價格デ買ツテ、自分ノ努力ハ全ク奉仕的ニシテ自分ノ薪炭ヲ取ルヤウナ狀態デ今日ハ續イテ居ルノデアリマス、或ハ法規ノ示ス通りデナイカモ知レマセヌガ、事實ハサウ云フコトノ爲ニ、比較的貧農階級——田舎ニ於キマスル山ノ所有ト云フモノノ關係ハ、多クハ富裕階級ガ持ツテ居ルノデアリマシテ、澤山ノ農民ト云フモノハ皆立木ヲ買ツテ薪等ヲ造ルノデアリマスガ、其ノ爲ニ非常ニ高イ金ヲ出シ、冬ハ其ノ爲ニ自分ノ努力ヲ提供シナケレバナラスト云フ狀態ニナツテ居ルコトヲ御認メ下サイマシテ、弊害ノナイヤウニ十分ヤツテ戴キタイト思ヒマス

次ニ御伺ヒシタイト思ヒマスノハ、此ノ法案ガ施行セラレルヤウニナリマスルト當然起ツテ來ルト思ヒマスルガ、尙ホ實際ニ於テ常ニ行ハレテ居ルコトデアリマスガ、何時デモ土地ガ收用サレルトカ、或ハ賣買サレルトカスルヤウナ場合ニ問題ニナツテ參リマスルノハ、地主ニ交渉サレテ地主ガ

賣渡ヲ契約スル、又サウ云フ場合ニ於テハ大概地目ガ變換サレル場合等デアリマスルシ致シマスルカラ、小作人ノ其ノ地域ニ對スル契約ノ權限ハ何時デモ消滅セラレレノデアリマス、併シナガラ今マデ耕作シテ居ツタ部分ガ收用サレル場合ニ、ソコニ地上權ト云フモノガ何時デモ幾ラ支拂ハルベキカト云フコトガ問題ニナツテ來ルノデアリマス、是ハ道路ノ出來ル場合ニ於キマシテモ、或ハ鐵道ノ出來ル場合ニ於キマシテモ何時デモ問題ニナルノデアリマスガ、ヤハリ此ノ法律ニ於キマシテモ、多クハ未開墾地ノ收用ガ行ハレルノデアリマスガ、中ニハ開墾地モ收用サレル場合ガアル、サウシテ是ガ時ニハ又前ノ關係ニ戻サレルト云フヤウナコトモアルヤウデアリマスガ、ココデ何時デモ問題ニナツテ參リマスルノハ、斯ウ云フ風ナコトノアル機會ニ、決シテ小作人ノ耕作セル權利ト云フモノハ侵サレナイカドウカ、若シソレガ侵サレテ行クヤウナ場合ニハ、爭ヒニナラナイヤウナ何等カ小作ニ對スル相當ノ代價ガ拂ハレルコトガ考慮サレテ居ルカドウカ、モウ一ツハ此ノ土地ガ改良セラレテ、サウシテ改良セラレタガ故ニ負擔ガ土地ニ課セラレル場合、サウ云フ時ニ於ケル小作料ノ問題ハドウ決セラレルノデアルカ、是等ニ付テ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

アリマス、併シナガラドウシテモ理由ナク買取ヲ拒ム、又其ノコト自體ガ農地開發ノ爲ニ非常ニ必要デアルニ拘ラズ、理由ナクシテ拒ンデ居ルト云フ場合ニ、已ムヲ得ズ土地收用ノ必要ガ出テ來ル、斯ウ云フ譯デアリマスカラ、常ニ土地收用デ以テ理由ナク取上ゲテ開發シテ行クト云フヤウナ形ハ執ラズ積リデアリマス、此ノ點ハ十分御承知ヲ願ツテ置キタイノデアリマス、而シテ斯様な場合ニ於テ收用致シマス場合ニ於テハ、先ヅ其ノ土地ニ付キマシテハドノ地域ニドウ云フ事業計畫デ營團ガ開發ヲヤツテ行クカト云フコトニ付テハ、此ノ度ノ法律ノ中ニハ地方ノ道府縣ノ農地委員會ノ意見ヲ聽ク、又中央ニ於キマシテハ中央ニ於ケル農地委員會ノ意見ヲ聽クト云フヤウナコトノ手續ヲ執ツテ、ソレ等ノ機關ニ聽キマシテ十分ニ元カラアル耕作權者ノ保護ニハ缺クル所ナイヤウニ實行上努メテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、尙ホ土地收用ニ關スル規定ハ、全部之ニ關スル法規ガアリマスカラ、其ノ收用サルベキ土地ニ付テノ代價等ノ支拂ハ、全部政府ニ於テ決定サレルモノデアリマス

最近富山縣決定サレテ居リマス小作人ニ要求セラレテ爭ニナツテ居ル所ノ條件ト云フモノニ付テ申上ゲテ見マス、小作ヲ繼續スル爲ニ小作人ニ斯ウ云フ契約ヲ要求サレテ居リマス、一小作米ハ豐凶ニ拘ラズ十一月二十日迄ニ納入スルコト、若シ遲滯スル場合ハ十日後必ズ土地ヲ明渡スコト、明渡ス場合裏作ノ代價ヲ請求セザルコト、二土地明渡シニ付テ離作料ヲ請求セスコト、三永小作權ヲ主張セスコト、四小作米支拂ニ當リテハ、地主ノ臺帳ヲ正當ト認メ異議ヲ申立テスコト、斯ウ云フ條件デ、是ハ富山縣ノ西礪波郡立野村デアツタ事實デアリマスガ、斯ウ云フヤウナコトガマダ多ク小作關係ニ於テ實際ニハ強要サレルノデアリマス、今日マデハ農民運動ト云フヤウナモノノ力ニ依ツテ、或ル程度マデ小作人ノ耕作權ト云フモノモ保護サレテ來タノデアリマスガ、最近サウ云フ階級ノ團體ノ力ニ依ラズシテ、寧ロ法制ト農地委員會ト云ツタヤウナ公ノ機關ニ依ツテ之ヲ最モ穩健ニ解決シヨウトスル結果ト云フモノハ、何時デモ斯ウ云ツタ話ニ陷ツテ行クト思フノデアリマス、時局下ニ於テ農民ノ力ニ依ル解決ヲシヨウトスルヤウナコトハ洵ニ不穩當デハアリマスケレドモ、併シナガラ之ヲ力ヲ以テヤラザル場合ニ於ケル穩當ナル解決デ、段々要求サレテ來ル問題ハ斯ウ云フコトガ出テ來ルノデアリマスガ、恐ラク私ハ斯様な營團ガ仕事ヲヤルヤウナ場合ニ於テモ、其ノ仕事ノ成功ノ爲ニハ兎角無理ナコトガナサレテ、却テ實際ニ耕作ヲヤル農民ト開發ヲセントスル者ノ間ニ、忌ハシキ爭ヒガ起ルノデハナイカト云フ風ニモ考ヘラレマスルノデ、此ノ農地委員會ノ議ニ依

ツテヤルト云フコトニ付テモ、サウ信賴ガ出來ナイノデヤナイカト私ハ考ヘルノデアリマスガ、政府ニ於テ現在ノ農地委員會ノ機能ト云フモノヲドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居ルカ、此ノ通りデ差支ヘナイカドウカト云フ點ニ付テ御伺ヒシタイト思ヒマス

○周東政府委員 御話ノ點洵ニ尤モデアリマスガ、農地委員會ノ構成ニ付キマシテハ、從來各地方ノ農地委員會ノ構成委員ニ付テ稍、遺憾ナ點モアリマシタ、丁度最近農地委員會ノ任期ガ來テ居リマスノデ、新シク構成ニ付キマシテ私共ノ方カラ地方長官ニ通牒致シマシテ、能ク其ノ人選ニ付テ考慮スルヤウニ、殊ニ其ノ中ニハ出來ルダケ健全ナル農民ノ代表ヲ入レルヤウニト云フヤウナコトヲ通牒致シマシテ、段々其ノ構成委員ノ内容ニ於キマシテモ適當ナ構成ニシタイ、斯ウ云フコトデ今指導シテ居リマス、段々ニサウ云フコトニナツテ參リマスルト、只今ノヤウナ事柄ハ是正サレテ行クノデヤナイカト思ヒマス、ソレカラモウ一ツ只今富山縣ノ西礪波ノ例ガ出マシタガ、其ノ實情ヲ能ク存ジマセスケレドモ、不當ナ小作料ノ條件ノ變更ト云フコトハ、實質的ニハ出來ナイコトニナツテ居リマス、是ハドウ云フコトデアリマスカ調べテ見タイト思ヒマス、ソレカラ先程ノ御質問ノ中デ一點落シマシタガ、土地改良等ニ依ツテ小作料ノ引上等ガ行ハレルヤウニナツテハ困ルガドウカト云フ御尋ネデアリマシタガ、是ハ從來ノ小作調停法ノ中ニ於キマシテモ、土地改良等ニ依リマシテ土地ノ生産力ト云フモノガ實際ニ於テ増加シテ、收量ガ殖エルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、是ハ小作料ヲ變更スルコトガ出來ルコトニナツテ居

リマス、勿論其ノ場合ニ於キマシテハ、其ノ當該關係地ノ農地委員會等ガ關係致シマシテ、適當ニ決メルベキデアルト存ジマスガ、サウ云フ場合ニハ變更ガ出來ルコトニナツテ居リマス、左様ニ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○須永委員 甚ダ小作ノ問題ニ深入シテ恐縮デゴザイマスガ、只今總務局長サンノ御話ノ通り、土地ガ改良セラレテ實際ニ價値ガ上ツタ場合ニ於テハ、小作料ガ上ゲラレルコトニナル、是ハ御尤モナコトデアリマスガ、唯實際ノ場合ニ於テ考慮シテ戴キタイコトハ、日本ノ習慣ト致シマシテ、例ヘバ水利ガ非常ニ不便デアルト云フコトダケデ小作料ガ非常ニ安イト云フ場合ガ少イノデアリマス、例ヘバ同ジ地域ニ於ケル耕地ノ中デモ、チヨット低地ニアル耕地ニ非常ニ水利ガ良クテ、少シ高イ所ハ時々旱害ヲ受ケルト云フヤウナ場合ガアリマシテモ、サウ畦一重デ水利ガ良イト惡イトニ依ツテ小作料ノ差ガナイノデアリマス、多クハサウ云フ所ハ作ル者ガ骨ヲ折ルト云フ形ニナツテ居ルノデアリマスガ、若シ水利ガ良クナツタカラト云ツテ、——今マデ其處ハ旱害ヲ受ケテ居ツタノガ良クナツタカラト云ツテ小作料ヲ上ゲマス、非常ナ差ガ付イテ來ルト私ハ思フノデアリマス、而モ中々是ハ面倒ナモノデアリマシテ、此ノ非常ニ水利ニ困ルヤウナ所ハ、又田ガ乾燥致シマシテ裏作ガ良ク穫レルトカ、水利ノ好イ所ハ案外裏作ガ穫レナイトカ致シマシテ、大體平均サレテ居ルノデアリマスガ、僅カ改良サレタカラト云ツテ、ソレニ依ツテ此ノ價値ガ全部小作料ニ依ツテ現ハレテ來ルト云フコトニナリマス、非常ナ弊害

ガ起ツテ來ルト思フノデアリマシテ、其ノ點ハ十分考慮シテ戴キマセスト、ヤハリ爭ヒノ種ニナツテ來ルト私ハ考ヘルノデアリマス

尙ホ小作關係ニ付テ、序デアリマスカラ御伺ヒシマスガ、増産ヲシヨウト云フ場合ニ於テ、一番私ハ不合理ダト思ヒマスノハ、天候カラ非常ニ害ヲ受ケテ無理ニ生産ヲヤラウト企テルコトハ、斯ウ云フ時ノ食糧政策トシテ一番必要ナ事デアアル、例ヘバ兩三年前ニ水害ノアリマシタヤウナ時ニ植エ付ケタノガ全部冠水シテマツテ、腐ツテシマフ、スルトソレガ又又農民ノ努力ニ依ツテ植エ直ス、併シナガラ又ドウモ思フヤウニ穫レナイデ、半作シカ穫レナカッタ、所ガ實際ニサウ云フ努力ヲシタ人ハ、寧ロ努力ヲシナイデ全部冠水シテ駄目ニナツタカラト云ツテ放ツテ置イタ人々ヨリモ、寧ロ經濟的ニ見ルト損ヲシテ居ル、努力ヲ掛ケ、苗ヲ遠クカラ運び、色々ナコトヲヤツテ經濟的ニ見マスト半作位穫ツテモ、實ハ寧ロ作ラナカッタ者ヨリモ經濟的ニ貧乏シテ居ル、ソレハ例ヘバ稅務署關係デモ全然穫レナケレバ免租スルガ、半分デモ穫レバ免租シナイト云フ方針デヤツテ居リマス、ソコデ地主側デモ放棄シテヤラナカッタ者ハ取レナイガ、半分デモ穫ツタ者ハ寄越セト云フコトニナリマシテ、天災カラヤラレマシテ小作人ガ努力シナケレバナラナイト云フ場合ニ、ドウモ此ノ小作料ノ決定ノ仕方ガ不合理ナ爲ニ、小作人ノ努力ガ酬イラレナイ、昨年ノヤウナ旱害ノ年ニ於キマシテハ、モウ僅カデモ穫ラウトスル爲ニ、五十間モ先ノ方カラ擔ヒ桶デ水ヲ擔イデ行ツテモ穫レナイ人ガアル、ソレデモ何ボカ穫レマシタ時ニハ、小作料ヲ寄越セト

言フ、寧ロ作ラヌデ置イタ方ガ經濟的ニ少シ利益ダツタ、幾ラデモ穫ルト小作料ヲ寄越セト云フコトニナリマス、或ハ是ハ小作調停若シクハ農地委員會ニ依ツテ裁カレルト云フ場合ニ於テモ、穫レバ必ズ地主ノ方ニ取ラレル、其ノ努力ハ決シテ酌シテ與レナイ、斯ウ云フコトハ動モスルト困難ナル農作ニ對シテハ耕作ヲ放棄シテシマフト云フコトヲ助長シヤシナイカ、斯ウ云フ場合ニ於ケル小作料ノ決定ノ方針等ハ、餘程農地委員會デ考慮シテ戴キマセスト、モウ早越ノ爲ニ植付ガ困難ニナツタナラバ、小作人ハ放棄シタ方ガ一番得デアアル、サウ云フ時ニハ努力モ高イカラ放棄シタ人ノ方ガ餘計得デアアル、併シ得デモ何デモ自分ノ耕地デアルカラ、何トカシテ穫ラウト云フコトニナツテ非常ニ骨ヲ折ルノデアリマスガ、

是ハ小作關係ノ捌キ方ニ付テハ非常ニ事情ヲ參酌シテヤルコトガ足ラナイ爲ニ、寧ロ努力ヲ惜シムト云フ傾向ガ出テ來ルノデヤナイカ、斯ウ云フコトニナリマス、若シ災害ノアリマス年ニ於ケル米ノ收量ト云フモノハ、一層之ヲ低下サセルト云フ結果ヲ生ズルト思ヒマスノデ、コンナ場合ニ於ケル改善ノ方法等ニモ、小作人ノ努力ト云フモノヲ非常ニ考慮シテ戴ク必要ガアルト思ヒマスガ、只今總務局長サンノ御話ノ通り、農地委員會等ガ其ノ内容其ノ他ニ於テ改革サレマスルト、非常ニ斯ウシタ國家ノ生産ヲ助長セシムル爲ニ、積極的ニ斯ウ云フコトヲ考慮シナガラ捌キガ出來ルコトニナルト結構ダト思ヒマスガ、現在ニ於テハ決シテサウ云フコトガ考ヘラレテ居ナイヤウデアリマス、ソレハ今マデノ農地委員ノ選ビ方ト云フモノガ、大概ハ地主的立場ニ立

ツ人、或ハ非常ナ常識家、或ハ宗教家、或ハ教育家ト云ツタヤウナ道德ヲ中心ニシテ、何デモカンデモ半分ツツヤツタラ宜イデヤナイカト云フ觀念ニ餘リ四ハレ過ギテ居ル人ヲ中心ニ致シマスカラ、之ヲハツキリト經濟的ノ國策カラ割出シテ考ヘテ、或ハ本當ノ努力ヲ計算ラシテ見テ、是デナケレバ努力ガ出來ナイト云フヤウナ方向ニ持ツテ行クコトガ出來ナイ爲ニ、サウ云フコトガアツタト思ヒマスガ、一層サウ云フ點ニ付テ注意ラシテ戴キタイト思フノデスガ、御見解ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○周東政府委員 御話ノ點私共全ク同感デアリマス、旱害等ノ場合ニ於テ、農民ガ最早枯死セントスル稻ニモ尙ホ執着ヲ殘シテ、土瓶水マデモ掛ケテ努力スルト云フアノ心情ト云フモノハ、是ハ單ナル經濟問題デナイト私ハ思ヒマス、本當ニ土ヲ愛シ、稻ヲ愛スル心持ガ彼處ニ現ハレテ居ルト思ヒマスノデ、左様ナ努力ヲ致シテ居ツテ、半作デモ穫ツタ場合ニ於ケル小作料ノ減免問題ニ關シマシテハ、是ハヤハリ御話ノヤウニ、理窟バカリデナクテ、相當ニソレ等ノ努力ト云フモノヲモ考ヘ、凡ニル事情ヲ綜合シテ、情ヲ以テ或ル程度ノ小作料ノ減免問題ヲ解決スベキモノデアルト私共考ヘマス、先程申上ゲマシタヤウニ、地方ノ農地委員會等ノ構成分子等ニ對シテハ、健全ナル農民ヲ代表スルヤウナ人、即チ農業事情、農民ノ心理ト云フヤウナモノヲ能ク知ツテ居ル方々ヲ加ヘ、斯クノ如キ場合ニ於テ本當ニ適正ナ、情ノアル小作料ノ減免關係ヲ考ヘデ與レル人ヲモ入レテ、左様ナ場合ニ處スルヤウニ農地委員會等ノ運用ヲ圖リタイ、左様ニ私共考ヘテ居リマス

○須永委員 次ニ法案ノ内容ニ付テ私ノ能ク分ラナイ點ヲ御伺ヒシマス、先程カラ説明ガアツタノカモ知レマセスガ、私委員會ニ怠リ勝チテ聽取ツテ居リマセスガ、此ノ營團ノ出資者ニ付テデアリマス、無論法案ノ中ニハ細カキ條文ガアリマス、併シナガラ農林大臣其ノ他ノ説明ニ依リマス、大體政府ノ出資ノ以外ハ二三ノ公益的ナ團體ニ許スノミデア、斯ウ云フヤウナ御話ヲ承ツテ居ルノデアリマスガ、一體其ノ出資者トハ、御差支ナカタナラバ、今ドンナ團體ニドノ程度ノ出資ヲサセル御計畫デアルカヲ承リタイト思ヒマス

○周東政府委員 只今計畫ヲ致シテ居リマスノハ、勸業銀行ト産業組合中央金庫ヲ考ヘテ居リマス、併シ是レ以外ニ於キマシテモ、若シモ本營團ノ目的趣旨ニ賛成サレテ、希望ガアレバ他ノ出資者ヲ拒ムモノデハゴザイマセス、併シ只今計畫致シテ居リマスモノハ只今申上ゲタニツノモノヲ考ヘテ居リマス

〔委員長退席、成島委員長代理着席〕

○須永委員 餘リ變ナコトヲ御伺ヒスルヤウデアリマスガ、農村勞力ノ補給方策ニ付キマシテハ、農林大臣ガ何レ委員會デ説明スルト言ツテ居ラレマスカラ、後ノ機會ニ農林大臣カラ御伺ヒシタイト思ヒマスガ、私ハ前ニ米ノ問題ガ論議サレテ居リマスル時ニ、一寸御質問申上ゲタノデアリマスガ、日本ノ農業ニ取リマシテ、殊ニ勞力不足ノ今日ノ日本ノ農業事情ニ於テ、憂慮ニ堪ヘナイモノハ、害蟲デモナイシ、病害デモナイ、一番恐レベキモノハ雜草デアルト何時デモ言ツテ居ルノデアリマス、是ハ私バカリデナク、色々ノ人ガ言ツテ居リマスガ、

例ヘバ或ル地域ニ於テ全ク害蟲驅除ヲヤラナカツタ部落ガアルトシテ見マシテモ、其ノ年ノ天候其ノ他ニ依ツテ特ニ害蟲ノ發生ヲ見ル年デアリマス、格別デアリマスガ、普通ニ於テハ害蟲驅除ニ付テ何等施設ヲヤラナカツタ所ニ於テモ、恐ラク害蟲ノ爲ニ全ク收穫ガ得ラレナイ、或ハ其ノ爲ニ著シイ結果ヲ生ジタト云フヤウナコトハ少イノデアリマス、併シナガラ若シ雜草ヲ取ルコトヲ全ク怠ツテ居リマシタナラバ、一年モ經ツタラ實際耕作ガ出來ナクナツテシマフノデアリマシテ、雜草ノ繁殖程恐レベキモノハナイト思フノデアリマス、併シ日本ノ農業方面ニ於ケル技術トカ、或ハ學問トカ云フモノハ、多クハ雜草ニ付テハ取レバ宜イノダト云フコトニナツテ居ル、雜草ニ付テハ除去シテシマヘバ問題ナイノデアリマスガ、併シ勞力ノ少イ時ニハ其ノ除去ガ困難デアリマス、ソレナラバ、蟲害ニシテモ何ニシテモソレヲ取ツテシマヘバ宜イノダト言ヘバ簡單デアリマスガ、ヤハリ取ルコトガ非常ニ困難デアリマス、併シナガラ日本デハ、餘談ニナツテ恐縮デアリマスガ、何處ノ圖書館ニ入ツテ見テモ、恐ラク雜草ニ關スル著書ト云フモノハ一ツモナイ、是ハ外國デモ同ジダト思ヒマスガ、併シ外國ノ農業ハ日本ノ農業ト非常ニ趣キ異ニシテ居リマシテ、雜草ノ害ト云フモノハ日本ノヤウニハアリハシマセス、若シ害ノアル地方ガアルト致シマシテモ、耕地ガ廣クテ閑地農業ヲアルト云フヤウナコトヲヤツテ居リマスルノデ、左程雜草ノ害ヲ認メナイヤウデアリマスルガ、日本ニ於キマシテハ、實生雜草ノ害ト云フモノガ非常ニ多イノデアリマシテ、日本ガ小農デナケレバ經營ガ

出來ナイトカ、或ハ非常ニ勞力ヲ使フトカ云フコトハ、全ク此ノ實生雜草ノ爲ニ使ツテ居ルノデアリマスガ、併シナガラ雜草ニ關スル問題ニ付テハ、百姓ノ舊來ヤツテ居リマスル努力ニ任セテアリマシテ、大概ノ技術者ガ雜草除去ノコトニ付テハ指導シテ呉レナイ、私ハ少クとも雜草ニ關スル試驗トカ或ハ研究トカ云フコトモ、日本ノ農業ニ於テハ相當スル必要ガアルノデヤナイカ、斯ウ考ヘマスガ、農事試驗場アタリニ行キマシテモ、土壤ノ試驗デアルトカ、肥料ノ試驗デアルトカ、或ハ害蟲ノコトデアルト云ヒマス、實ニ綿密ナ試驗ヲヤツテ、サウシテ其ノ結果ヲ發表シテ百姓ニ利益ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、所ガ雜草ニ關スル限リ、アノ特別ナ地域デ特別ノ試驗ヲヤツテ居ル關係カ、少シモ發表シテ居ラナイ、隨テ實際百姓ガ勞力ガ足りナイトカ、或ハ天災ヲ食ツテ斯ウ云フコトニナツタトカ云フ時ニナリマス、案外技術員ト云フモノハ役ニ立タナイ、話ハ違ヒマスガ、例ノ一昨年ノアノ水害ノアツタ當時、稻ガ冠水シテ枯レタ時ニ、千葉縣ニ行ツテモ、茨城縣ニ行ツテモ、農事試驗場ニ行ツテ見ルト、斯ウ云フ風ニ稻ガ腐ツタ時ニハ其ノ跡ハドウ云フ風ニスレバ宜イカト云フ實際問題ニナツテ來ルト、少シモ試驗ガナイ、陸稻ヲ持ツテ來テ植エテ見タラ宜イトカ、今一度植エテ見タラ宜イヤウニ言ツテ見タリ、或ハ稻ヲ刈取ツテ根カラ再發サセルコトガ宜イヤウニ言ツテ見タリ、試驗場アタリニ行ツテ見ルト、ドノ方法ガ一番結果トシテ宜イノダト云フ試驗ヲ少シモシテナイ、デアリマスカラ、アレダケ廣イ町歩ガ水ニ浸サレタ場合ニ、其ノ跡ヲドウスルノダト云フ

コトニナリマス、百姓ガ昔カラノ慣例デ陸稻ヲ採ツテ來タリ、或ハ遠クノ方カラ苗ヲ持ツテ來タリ、或ハモウ一度稲種ヲ振播イテ見タリ、或ハ苗ヲ切ツテ根ダケヲ植エテ再發セシメタリ、色々ナコトヲヤツテ居リマス、技術者ハドレガ一番的確ナ方法デ、一番收穫ノアル方法ダト云フコトヲ發表スルコトガ出來ナイ、同ジヤウニ昨年ノ如ク旱魃ニ襲ハレテ參リマス、水ガ足りナイ爲ニ非常ニ田ニ雜草ガ生エテ來ルト云フコトガアリマシテモ、之ヲドウスレバ宜イカト云フコトニナルト、研究ガ出來テ居ラス、實際百姓ガ常識的ニヤツテ居ルコトニナリマス、技術的ニ少シモ研究シテ居ラナイノデアリマスルガ、雜草ノ如キモ、例ヘバ、禾本科ノ種ト云フモノハ一年經デバ發芽力ヲ失フトカ、菊科ノ種ハ斯ウ云フ風ニスレバ後ハ生エナイトカ、地中何寸ノ深サニ掘レバ雜草ノ發芽ハ出來ナイトカ、色々研究シテ見レバ、之ヲ應用スルコトニ依ツテ勞力ノ非常ニ助カル方法モアルト思フノデアリマスガ、少シモサウ云フ風ナ研究ヲヤツテ居ラナイ、是ハ今日ノヤウニ勞力ノ不足ニナツテ來テ居リマスル時ニハ、雜草除去ノ方法ガ研究サレテ居リマセス、非常ニ勞力ノ無駄ガアルノデハナイカ、斯ウ云フコトモ考ヘマスルノデ、試驗場ナリ、其ノ他技術者ニ於テモ、雜草ニ付テ關心ヲ持ツテ研究シテ貰ヒタイト思フノデアリマスガ、之ニ對スル御見解ヲ承リタイト思ヒマス

○岸政府委員 須永サンノ御意見御尤モデゴザイマス、日本ノヤウナ植生ノ非常ニ盛ンナ所デ、田畑ガ雜草ニ惱マサレルト云フコトハ當然考ヘラレルコトデアリマス、是ガ

平素ノ時ナラバ、勿論人力ダケデ農家ガ各、努力ヲスルコトニ依ツテソレガ解決サレルノデアリマス、之ヲ更ニ科學的ノ方法ニ依ツテヤルコトガ出來レバ、勞力ノ節約上非常ナ效果ガアルト云フコトハ御説ノ通りデアルト存ジマス、現在之ニ對シテ研究ヲシテ居ルカト云フコトニナリマス、遺憾ナガラ私ハマダ十分ヤツテ居ラスト思ヒマス、是ハ二三サウ云ツタヤウナコトヲ聞キマスケレドモ、雜草ヲ絶ヤスヤウナ藥品デアルト、他ノモノモヤツツケテシマフト云ツタヤウナコトモアリマスノデ、其ノ點中々藥品等ノ使用ト云フコトモ出來ナイト云フコトニナリマス、耕作ノ方法等ニ依ツテ、或ハ機械力、畜力ヲ使ツテ除草ヲヤルト云ツタヤウナ所ニ落着クノデアラウト思ヒマスガ、斯ウ云フ勞力ノ足りナイ時デアリマスカラ、除草等ニ付テモヤハリ共同シテ努メル、或ハ現在色々施設ヲシテ居リマス所ノ學校ノ生徒ノ勤勞作業、或ハ其ノ地方ノ青年團等ノ勤勞作業ト云ツタヤウナモノ活動ニ依ツテ、サウ云ツタヤウナコトモ此ノ時局ニ於テハ協力シテヤツテ貰ツテ、サウ云フヤウナ困難ヲ克服シテ行クト云フヤウナ點ヲ考ヘナケレバナライ、斯ウ思ツテ居リマス、兎ニ角現在ノ狀態ニ於テ勞力ヲドウ云フ風ニ節約シテ行カト云フコトニ付テ、今御話ノ御意見十分考ヘマシテ、私共モ十分調査ヲヤツテ、幾分ナリトモ此ノ問題ニ寄與スルヤウニ努力致シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○土田委員 一寸關聯シテ伺ヒマス、只今ノ雜草問題ハ、日本ニ於ケル農業ニ於テ最も考ヘナケレバナラスト思フノデアリマス、外國ヨリモ日本ニ雜草發生ノ率ガ非

常ニ多イト云フノハ、研究ノ結果、是ハ土壤ノ關係デ、日本ノ土地ハ酸性土壤ガ相當多イカラデアリマスガ、雜草ノ繁茂ヲ防グ方法ト致シマシテハ、先ヅ以テ土壤改良、今政府デ獎勵シテ居ル石灰石ノ土壤混入、是ハ北海道ニ於テハ汽車ノ運賃ヲ全部免除シテ石灰石ヲ土壤ニ入レルコトノ獎勵政策ヲ執ツテ居リマス、又内地ニ於キマシテハ、汽車賃ヲ半減致シマシテ土壤改良ニ努メテ居ルノデアリマス、石灰石ヲ入レ、暗渠排水モヤリ、又燐酸分ノ保有量ヲ多ク致シマスレバ、雜草ノ繁茂狀況ハ約半分位ニ低下スル、現ニ斯フ云フコトヲヤツテ居ルノデアリマス、又最近ニ於キマシテハ、畜力除草機ノ使用ト云フコトヲヤリマシテ、除草ニ際シテ馬ヲ田ノ中ニ入レテ、サウシテ馬ガ使フ除草機ト云フモノガ出來テ居ルノデアリマス、政府ニ於キマシテモ、斯フ云フヤウナ徹底シタ研究ガアルノデアリマスカラ、之ニ對シマシテ大イニ助成ノ途ヲ講ジマシテ、雜草除去ノ方策ヲ立テ御意見ハナイカドウカ、此ノ點ハ相當重大問題デアリマスカラ、農林省ナリ、竝ニ民間ニ於テ研究シテ居ル實際ノコトヲ認メマシテ、大イニ助成シテ戴キタイト思フノデアリマス、此ノ點ニ對スル所見ヲ承リタイノデアリマス

○岸政府委員 日本ノ土地ガ酸性土壤ガ多イカラソレデ雜草ガ多イノダ、是ニハ石灰石ヲ撒布シタリ、或ハ畜力利用ニ依ル除草機ノ使用ニ依ツテソレヲ抑壓スルヤウナ方法ヲ執ルノガ宜イガ、之ニ對シテ助成方策ヲ執ツテ居ルカ、斯フ云フヤウナ御話ノヤウニ承リマシタガ、只今御話ニナリマシタ畜力機具ノ問題ニ付キマシテハ、現在ニ於

テモ部落等デ共同利用スルヤウナモノニ對シテ助成ヲヤツテ居リマスノデ、サウ云フ方面ハ先程須永サシニモ申上ゲマシタヤウニ、畜力ヲ利用シテ現在ノ雜草ヲ抑壓スルト云ツタヤウナ方面ニ留意スル必要ガアリ、又サウ云フコトガ有效デアルト云フ考ヘノ下ニヤツテ居リマス、石灰石ノ撒布ニ付テドウ云フ方策ヲ執ツテ居ルカト云フコトニ付テハ、只今別段ヤツテ居ル譯デハゴザイマセスガ、ソレ等モ十分留意致シテ行ク必要ガアルト思ヒマス

○土田委員 石灰石ノ購入ニ際シマシテハ、町村長ノ證明ガアリマス、鐵道省ハ運賃ヲ半減致シマシテ、其ノ土壤改良ニ努メテ居ル次第デアリマス、斯ウ云フコトガ實際既ニ計畫サレテ居ルノデアリマスカラ、ヤハリ農村地帯ニ於ケル各町村ニ對シマシテハ、斯ウ云フコトヲ一般ニ周知セシメル必要ガアルト思フノデアリマス、此ノ點ハ私ハ別ニ答辯ハ求メマセスケレドモ、希望ヲ申上ゲマシテ、私ノ關聯質問ハ是デ終リマス

○須永委員 私ノ前ニ質問致シマシタコトモ、要スルニ機具ノ使用其ノ他ニ於ケル操作ノ點デアリマスナラバ、百姓ハ相當色々ナ工夫ヲ凝ラシテヤツテ居ルト思フノデアリマス、唯科學的ナ研究ニナツテ參リマスト、百姓ニハ中々出來ナイ、今ノ御話ノ通り、石灰ヲ施シマシテ水田ノ主トシテ禾本科系ノ植物ノ發芽ヲ抑ヘルコトガ出來ル、或ハ畑ニ於テモ其ノ方法ヲ講ゼラレルト云フコトハ是ハ明カナコトデアリマス、之ヲモツト廣ク、試驗場デ雜草ニ對スル研究ヲ突込シマシテ見ルト、是ハ興味ノアルモノデアリマスシ、必ズ作

物ヲ害セズシテ、モウ少シ簡單ニ雜草ノ弱味ヲ衝イテ倒スコトガ出來ルノデアリマシテ、雜草ト言ヒマシテモ大概ハ菊科、禾本科ノモノガ多イノデアリマスガ、此ノ二ツニ對スル何等カノ方法ヲ講ズレバ、日本ノ勞力ハ非常ニ助カルト思フノデアリマス、一ツ此ノ研究ヲ大イニヤツテ貰ヒタイト云フノガ私ノ念願デアリマス

最後ニ一ツ、前ノ米ノ配給ノ所デ御伺ヒスルコトデアツタノデアリマスガ、今附加ヘテ一ツダケ御答ヘヲ願ヒタイト思フノデアリマス、米ノ配給ニ付テ、十五年ノ十二月二十七日ニ農林次官ノ通牒ヲ以テ是ガ指令サレテ居ルノヲ見マス、消費組合ト云フモノヲ認メテ、消費組合或ハ購買會ト云フヤウナモノヲ、配給機構ヲ完備スル上ニ於テ相當考慮シテヤルヤウニ出テ居ルノデアリマスガ、實際ニ於テハ商業組合ガ中心ニナツテシマツテ、消費組合ト云フモノハ全く默殺サレテシマツテ居ル、是ハ場所ニ依ツテハ消費組合ヲ相當尊重シテ居ル所モアルヤウデアリマスガ、府縣ニ依ツテハ全く消費組合ハ新シイ配給機構カラ除外サレテ居ルヤウナ所ガ澤山アルノデアリマス、農林省ハ舊來米ノ配給ニ付キマシテ、ヤハリ公益的見地ニ立ツテ活動シテ參リマシタ消費組合、若シクハ購買會ト云フヤウナモノヲ、今後ドウ云フ風ニ扱フ御積リデアリマセウカ、此ノ點ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○周東政府委員 農林省ニ於キマシテ米等ノ生活必需品ノ配給ニ關シテ消費組合、購買組合ト云フヤウナモノヲ將來ドウ云フ風ニ扱フカト云フ御尋ネデアリマスガ、其ノ點ニ付テハ、只今御示シナリマシタ昨年十二月ニ出マシタ次官ノ通牒ノ趣旨ハ變

ツテ居リマセス、其ノ趣旨デゴザイマス、私共ハ購買組合モ他ノ小賣商人ト同様ナ地位ニ於テ、今日國ガ必要トスル生活必需品ヲ適當ニ需要者ニ配當スル爲ニハドンナ形ヲ取ツタラ一番宜イカ、コンナ風ナ立場デ考ヘテ居リマス、其ノ場合ニ、理想的ニ考ヘマスレバ、ヤハリ消費者ノ組織スル組合ニ於テ之ヲ配給處理セシメルト云フコトガ一番理想デアリマス、併シ御案内ノ通り、只今ノ消費組合ニ於キマシテハ、所謂産業組合ニ基ク購買組合モ同様デアリマスガ、

多ク成績ノ良イノハ職場組合ノニナツテ居リマシテ、地域のニナツテ居リマセヌ關係上、今日ノヤウナ食糧事情ノ下ニ於キマシテハ、可ナリソコニ配給上色々手違ヒヲ生ズルト云フヤウナコトモアリマシテ、一元的ニ行カケレバ中々困難ナ事情ガ澤山アリマス、隨ヒマシテ理想ハ理想トシテ考ヘテ居リマスガ、ソレデハ總テヲ購買組合デト云フコトモ是ハ中々困難デアリマス、併シナガラ相當ニ購買組合デ、或ル地域ニ於テ其ノ住民ノ九割以上モ組合ニ入ツテ居ルト云フヤウナ所ハ、ヤハリソレヲ中心トシテ配給機構ニ當ラズ、サウシテ組合ニ入ツテナイ者マデモ何トカノ方法デ世話ヲシテ行クト云フヤウナ方法ヲ考ヘタラドウカ、隨テ若シ消費組合等ニ於キマシテ、或ル地區ヲ限ツテ見マシタ時ニ、殆ド其ノ住民ハ關係ナイ、入ツテ居ラナイト云フヤウナ所ニ於キマシテハ、寧ロ小賣商人デ組織シタ商業組合ヲ中心ニ置イテ配給ニ當ラシメル、其ノ配給ノ仕事ニ購買組合ノ事務所等ガ協力スルト云フヤウナ行キ方ヲ執ルノガ宜クハナイカ、只今ノ所斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレ等ノ内容ガ御示シナリマシ

タ昨年十二月ノ次官通牒ニ盛ラレテ居リマス、私ノ方デハ左様ニ考ヘテ居リマス

○須永委員 農林省ノ次官通牒ノ通りニ行ツテ居レバ宜イト思フノデアリマスガ、實際ハ中々サウデナイノデアリマシテ、消費組合ノ實際ナンカカラ見マス、相當ナ成績ヲ持ツテ居リマシテモ、然ラバドノ區域ガ消費組合ノ組合員ヲ以テ過半數デアルトカ、或ハ相當ノ程度ガ滿サレテ居ルト云フ所ガアリマセヌト、相當ノ實績ヲ持ツテ居リマシテモ、實際ニハ區域ガ與ヘラレナイノデアリマス、サウスルト舊來相當ナ實績ヲ持チ、相當ナ職員ヲ以テ事業ヲヤツテ居リ、而モ立派ナ機構ナドノ設備ヲ持ツテ居ツテモ、此ノ場合ニナルト全ク配給機構カラ除外サレテシマフト云フ形ニナルノデアリマスガ、是ハ通牒デ出シテ居ル方針カラ言ヘバ、何等カ舊來ノ方法ヲ考慮シナケレバナラヌ筈デアリマスガ、實際ニ於テハ商工省ノ方ノ所謂商業組合ノ指導方針ガアリマス、農林省ノ方ノ通牒ガ積極的ニ有利ニ解釋サレナイセイカ、實際ニ於テハ消費組合ハ其ノ業績ヲ持ツテ居リナガラ、今ハ段々配給機構カラ除外サレテ行クト云フ形デアリマスルカラ、之ヲモウ少シ舊來ヤツテ來タ實績ニ基イテヤル必要ガアルノデハナイカト思フノデアリマス

ガラ地方ノ事情カラ言フト、是ハ山梨縣ノ或ル村ノ事實デアリマスガ、今年ノ五月勞力ガ非常ニ足りナカッタ時ニ、此ノ村デ生産スル米ハ此ノ村デ食ベルノダト云フコトデ、村ガ一致シテ耕作ニ當ラウト云フノデ、村長ガ指導シテ、例ヘバ學校ノ先生カラ、或ハ工場ニ通フ勞働者カラ、或ハ商人カラ、全部總出デ一ツ此ノ村ノ爲ニヤラウト云フヤウナ氣持デ、田植エノ時ニ總動員デヤツテ、勞力ニ困難セズニ、而モ何時モノ年ヨリ早ク田植エヲ終ツタト云フヤウナ話ヲ聞イテ居ルノデアリマス、是等ハ全ク地方的意識ニ燃エ上ツテスルコトデ、努力ノ出來ル方法ダト思フノデアリマス、所ガ配給ノ方法ガ、何ト言ヒマスカ、非常ニ理窟詰メニナツテシマツテ、サウ云フ風ニシテ村ガ一致團結シテ増産ニ當ラウト思ツテ努力シテ、皆田ニ出テ働イテ居ツテモ、皆米ヲ分配スル場合ニナルト云フト、今度ハ單ニ田植エニ手傳ツタ者ハ、之ヲ生産者ト言ハレナイノデアリマス、結局ニ二合何ウカノ配給ヲ貰フ、百姓ノ方ハ保有米ヲ持ツテ居ルト云フヤウナコトデ、非常ニ今年ハ工合ガ惡イト云フ話デアリマス、是等ハ私共一個ガ經驗スル所デアリマスガ、恐ラク農繁期ニ於キマシテハ、凡ユル者ガ協力シテ一ツヤラウト言ツテヤル所ニ、農村ノ勞力ハ何トカ間ニ合ツテ出ルノデアリマスガ、

皆米ヲ配給ニナツテ參リマスルト、今度ハ餘リニヤカマシクナツテシマツテ、ドウモ自分ノ穫ツタ米ガ自分デ食ヘナイ、生産者ノ方ハ成程保有米ガアルノデアリマス、手傳ツタ者ハ保有米モ何モナイト云フコトニナツテシマヒマス、是ハモウ洵ニ工合ガ惡イト思フノデアリマスガ、何トカ農業

生産ニ手傳ツタ者ニモ此ノ才蔭ガアルト云フヤウナコトヲ考ヘタラドウデアルカ、私ハ斯ウ考ヘルノデアリマス、米ノ配給方法ハ、成程統制上今ヤルヤウナコトヲヤラナケレバ納マリガ付カナイト云フコトヲ言フカモ知レマセヌガ、併シ理想カラ言ヘバモウ少シ私ハ實情ニ應ジテ考ヘタラバ、却テ煩雜ヲ避ケテ樂ニ出來ルノデハナイカト思フノデアリマス、例ヘバ私ハ自分デ百姓ヲ經營シテ居リマスガ、一面共同經營デ織物ノ工場ヲヤツテ居リマス、ソコデ田植エノ忙シイ時ニ、織物ノ工場ニ居ル女工サンヲ使ツテ居ル、健康ノ爲ニモ宜イ、皆ノ米ヲ穫ルノダト云フノデ、全部ニ手傳ハセテ田植等ヲヤツテ居ルノデアリマスガ、皆米ヲドウ云フ風ニ處分スルカト云フコトニナルト、百姓トシテノ保有米ヲ取ツテ、殘餘ノ米ハ全部丸公ノ判ヲ捺シテ供出米ニシマス、所ガ同ジ釜デ御飯ヲ炊イテ食ベルノニ、工場ノ女工サンダト云フコトニ依ツテ、其ノ方ハ配給米ヲ貰フノダト言ツテ、自分デ穫ツタ米ヲ丸公ノ判ヲ捺シテ積ンデ置イテ、サウシテ一面袋ヲ持ツテハ十日目々々々ニ配給米ヲ貰ヒニ行ク、洵ニ不恰好ナコトヲヤツテ居ルノデアリマスガ、是等ハ私一個ノ經驗デアリマスガ、斯ウ云フヤウナコトハ私一個ニ於テモ、サウ云フ無駄ナコトヲヤツテ居ルノデスカラ、村ニシテ見ルト、何處デ穫レタカ知レナイ米ヲ、而モ白米ニナツタモノヲ穀屋サンガ勝手ナ量リ方デ分ケテ居ルモノヲ貰ツテ居ル、サウシテ其ノ村ノ米ハソツト何處カニ積込ンデ、鼠ニ食ハシテ居ル、洵ニ地方トシテ農作ニ努力シヨウト云フ氣分ガ出テ來ナイヤウナ組織ニナツテ居リマスガ、米ノ配給

ヲヤルトカ、或ハ生産ヲサセルト云フコトヲモウ少シ有機的ナ關係ヲ持タセテ、其ノ生産ニ其ノ地域ノ者ガ一緒ニナツテ努力シテヤルト云フヤウナ氣分ノ出ルヤウナコトヲ考慮シナガラヤウタ宜イト思ヒマスガ、將來ハモウ少シ生産ニ努力スル氣分ガ誰ニモ出テ來ルヤウナ方法ヲ講ズル必要ガアルノデハナイカ、サウ云フコトヲヤルコトニ依ツテ、農村ノ勞力ト云フモノハ或ル程度私ハ補充サレテ行クノデハナイカト思ヒマスガ、之ニ對スル御考ヘフ伺ヒタイト思ヒマス

○周東政府委員 洵ニ御尤モナ御話デアリマス、唯此ノ間大臣カラモ御話ヲ申上ゲタト思ヒマスガ、此ノ異常ナル時ニ當ツテ、米穀ノ國家管理ヲ實行シテ來タノデアリマスガ、其ノ實行後マダ兩三箇月シカ經ツテ居リマセヌ、其ノヤリ方ニ付キマシテモ、或ハ色々ナ點ニ付テ足ラス所モアルカト思ヒマス、隨テ色々實際ノ事情ヲ御聽キシ、管理ガ進ムニ從ヒマシテ惡イ所ハ改メテ行ツタラ宜カラウト云フコトヲ大臣ガ申シマシタ、私共モサウ云フ考ヘデアリマス、唯色々ナ場合ニ、各地方毎ニ特例ト云フモノハ色々アルト思ヒマス、全國的ニ見テ大キナ統制ヲヤラウト云フ時ニ、一ツツノ細カイ特例ヲ考ヘテ行キマス、實際問題カラ見テ大局カラ拔ケルト云フ風ナ場合ガアルト思ヒマス、一應アア云フ風ナ形デ統制サレタト思ヒマス、此處ニ中々私共ノ方デモ苦シミガアリ、完全無缺デ是ナラ大丈夫ダト云フ考ヘデモ必ズシモゴザイマセヌ、非常ニ惱ンデヤツテ居ル譯デアリマス、大臣ガ此ノ間申上ゲマシタヤウニ、管理ノ進行ニ伴ヒマシテ、本當ニ缺點ノ所ハヤハリ

直シテ行クベキダト、斯様ニ大臣ガ申シマシタ通りニ御答ヘフ申上ゲテ置キタイ思ヒマス、ソレカラ先程次官ノ通譯デ、消費組合、購買組合等ノ扱ヒニ付テ、或ル一ツノ方針ガ定メラレテ居ルガ、地方ニ於テ實際ニ於テハ商工省トノ關係ニ於テ、稍、其ノ方ハ歪メラレテ居ルト云フ御話ガアリマシタ、是ハ或ハ地方ニ依リマシテサウ云フコトガアルヤウデアリマス、段々ト私共ノ方ヘモ陳情ニ見エテ居リマス、只今能クソレ等ノコトヲ調査シ御話ヲ聽キ、善處シタイト思ツテ居リマス、幸ヒニ此ノ度ハ農林省ニ米等ノ如キ生活必需品、殊ニ食糧品ノ如キハ、生産、配給、消費マデ全部私共ノ方デ管轄致シ、生産者ノミナラズ、商業者、工業者、ソレ等ノ方ニ關係スル者ニ付テノ監督指導ハ、農林省デ一元的ニヤルコトニナツテ居リマス、十分ニ各方面ノ事情ヲ考ヘマシテ、實行シテ行キタイト思ヒス、今日ハモウ農林省ハ農村ダケノ農林省デナクテ、都會地ノ爲ニモ考ヘナクテハナラヌ、同時ニ農民竝ニ商業者ノ爲ニモ考ヘナクテハナラヌ立場ニアリマス、ソレ等ノ凡ユル方面ノコトヲ考ヘマシテ、十分ニ善處致シタイト思ヒマス

○須永委員 大體私ノ農林大臣ニ對シテ質問セントスル所ハ終ヘタノデアリマス、唯一ツ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、米ノ配給ニ付キマシテハ、今マデ私ハ縷々質問ヲ致シ御答辯ヲ戴キマシタヤウデアリマスガ、唯實際問題ト致シマシテハ、舊來榮養食ヲ配給シテ居リマシタ習慣ノアル所、或ハ工場デ給食ヲシテ居ツタ場所、色々ナ點ニ於テ今ノ管理ノ方法ノミデ行キマス、無理モ随分アルノデアリマス、十分國民ノ

保健及ビ其ノ生活ト云フモノニ對スル自信或ハ安定ト云フヤウナコトハ、ヤハリ米ニ依ツテ一番先ニ出發スルノデアリマスルカラ、十分ソレ等ノコトヲ考慮サレンコトヲ御願ヒ致シテ置ク次第デアリマス、是デ私ノ質問ヲ終リマス

○成島委員長代理 本日ハ是デ散會致シマス、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス

午後五時六分散會